

令和2年版

消防年報

熊本県
天草広域連合消防本部

この消防年報は、天草広域連合消防本部の現勢と令和2年中の消防に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するために編さんしたものです。

なお、統計については原則として暦年、予算関係については会計年度とし、表中に年月を明示したものについては、その時点での現況としています。

令和3年6月

天草広域連合消防本部

令和2年度中の主な行事

月	行事内容	
4	○人事異動 ○初任科第65期入校	○熊本県消防職員意見発表会（ビデオ審査） ○天草地区危険物安全協会役員会（書面会議）
5	○天草消防連絡協議会会議（書面会議） ○第45回熊本県消防救助技術大会（陸上）（中止） ○天草地区危険物安全協会総会（書面会議）	○甲種防火管理再講習会 ○天草地域幼少年女性防火委員会会議（書面会議）
6	○第45回熊本県消防救助技術大会（水上）（中止） ○危険物安全週間	○熊本県救急教育セミナー（中止）
7	○第48回九州地区消防救助技術指導会（中止） ○応急手当普及員講習（中止）	○天草消防連絡協議会視察研修（中止） ○天草地区少年消防クラブ球技大会（中止）
8	○天草広域連合議会定例会 ○第32回熊本県消防操法大会（中止）	○上天草地区少年消防クラブ球技大会（中止）
9	○防災の日 ○昇任試験 ○消防職員採用1次試験 ○定期監査 ○甲種防火管理新規講習会	○安全運転管理者等講習会 ○救急の日 ○熊本県総合防災訓練（中止） ○天草市総合防災訓練（中止）
10	○人事異動	○熊本県消防長会秋季総会
11	○天草広域連合議会定例会 ○天草消防連絡協議会会議（書面会議） ○消防職員採用2次試験 ○苓北町防災訓練（中止）	○緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（中止） ○熊本県救急教育セミナー（中止） ○上天草市総合防災訓練（規模縮小実施） ○秋の全国火災予防運動 ○甲種防火管理新規講習会
12	○年末警戒巡察	○甲種防火管理新規講習会
1	○各市町消防出初式（中止） ○防災とボランティアの日 ○全国救急隊員シンポジウム	○定例表彰 ○文化財防火デー
2	○天草広域連合議会定例会 ○体力鍛成防火マラソン	○熊本県メディカルコントロール協議会
3	○春の全国火災予防運動	

目 次

総 務

1	天草広域連合の地勢	1
2	人口・世帯数及び面積	1
3	沿革の概要	2
4	天草広域連合の組織図	15
5	天草広域連合特別職及び役職名	16
6	消防本部・消防署事務分掌	17
7	消防本部・消防署人員配置表	19
8	天草広域連合一般会計予算（当初）	20
9	消防予算（当初）	21
10	基準財政需要額及び常備消防費負担金（当初）	22

消防施設と現有勢力

1	天草広域連合消防本部・署・分署配置図	25
2	消防庁舎の状況	26
3	市町別消防水利状況	26
4	現有消防力の状況	27
5	消防団の現勢	28
6	勤続年数別職員数	29
7	年齢別職員数	30
8	職員の特殊技能	31
9	消防音楽隊	32
10	演奏活動出場状況	33
11	月別演奏活動状況	33
12	職員研修等実施状況	34
13	消防相互応援協定の状況	35
14	消防救助技術大会出場結果	36

予防行政

1	防火対象物の現況	3 9
2	消防法及び火災予防条例等に基づく諸届出受理件数	4 0
3	甲種防火管理新規講習会実施状況	4 1
4	甲種防火管理再講習会実施状況	4 1
5	火薬類消費許可申請及び許可状況	4 1
6	中高層建築物現況数	4 2
7	防火対象物定期点検報告等の状況	4 3
8	月別・市町別建築同意事務処理状況	4 4
9	危険物製造所等の現況	4 5
10	危険物規制事務取扱状況	4 5
11	幼少年女性防火クラブの結成状況	4 6
12	自主防災組織結成状況（民間自主防災）	4 9

消防通信

1	月別 119番着信状況	5 3
2	市町別災害出動覚知方法	5 3
3	聴覚言語障害者へ対するシステム	5 4
4	外国人へ対するシステム	5 5

火災統計

1	火災概要	5 9
2	火災種別出火件数の構成比率	5 9
3	1日当たり及び1件当たりの火災状況	6 0
4	火災発生件数の推移	6 0
5	火災損害額の推移	6 1
6	令和2年（2020年）中の主な火災	6 1
7	月別火災発生状況	6 2
8	市町別火災発生状況	6 4
9	出火原因別火災発生状況	6 6

救急業務

1 救急概要	6 9
2 事故種別の順位	6 9
3 救急需要の推移	7 0
4 ヘリコプターによる搬送件数の推移	7 0
5 事故種別・年齢区分別救急搬送状況	7 0
6 時間別救急出場件数及び搬送人員	7 1
7 曜日別月別救急出場件数	7 2
8 現場到着所要時間別出場件数	7 3
9 収容所要時間別搬送人員	7 3
10 傷病程度別搬送人員	7 4
11 医療機関別搬送人員	7 4
12 事故種別・理由別不搬送状況	7 5
13 市町別医療機関数	7 5
14 救急隊員の行った処置	7 6
15 市町別救急発生状況	7 7
16 住民に対する応急手当普及啓発指導状況	7 8
17 応急手当指導員講習修了者状況	7 8
18 救急救命士資格取得状況	7 9
19 救急救命士気管挿管・薬剤投与認定取得状況	7 9

救助業務

1 救助業務活動状況の推移	8 3
2 事故種別出動状況等	8 4

一目統計



気 象

年平均気温 16.6 度
年平均湿度 73.0 %

管轄面積

2 市 1 町
878.38k m²

人 口

112,092 人

世帯数

51,338 世帯



消防費総額

20億9973万円

署 ・ 所

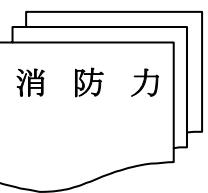
消防本部 1
消防署 3
分 署 10

職員数

定員 218 人
実員 215 人
平均年齢 35.0 歳

団員数

定数 4,580 人
実員 3,996人
(うち女性 52 人)



消防車等

ポンプ車 1台
水槽付ポンプ車 8台
(非常用1台含む)
小型動力ポンプ
付積載車 5台

特殊車両等

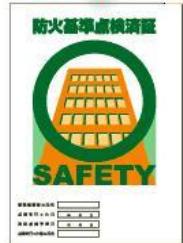
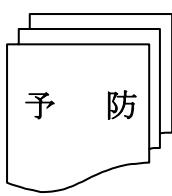
梯子車 2台
化学生車 2台
救助工作車 2台
水槽車 1台
資機材搬送車 2台
消防救急艇 1隻
拠点機能形成車 1台

救急車等

高規格 15 台
(非常用 2 台含む)
救急車 1 台

消防水利

消火栓 1,227個
防火水槽 1,308基



防火対象物

対象物数 2,044 件
棟 数 2,959 棟

防火対象物 定期点検報告制度

該当対象物数 98 件
特例認定済 62 件
点検報告済 34 件

危険物施設 防火クラブ等

製造所	1 件	幼年消防	35 団体
貯蔵所	256 件	少年消防	15 団体
取扱所	206 件	女性防火	3 団体
自主防災		370 組織	



火 災

火災件数 64 件
死 者 0 人
負傷者 9 人
損害額 15,767 千円

出火原因

1位 たき火 33 件
2位 不明・調査中 7 件
3位 風呂かまど
その他 各 4 件

救 急 救 助

出場件数	5,435 件	出動件数	69 件
1日平均	15 件	活動人員	355 人
搬送人員	4,857 人	救助人員	47 人

總務

1 天草広域連合の地勢

消防本部の位置：天草は熊本県の南西部に位置し東シナ海や八代海、有明海に囲まれ豊かな自然と南蛮文化、キリシタンの歴史などの観光資源に恵まれた風光明媚なところです。消防本部は天草下島の天草市にあり東経130度11分20秒、北緯32度28分44秒に位置し南北51キロ、東西48.5キロの中心に位置します。

2 人口・世帯数及び面積

令和3年4月1日現在

市町名	総人口	世帯数	面積(km ²)
天草市	78,802	36,745	683.86
上天草市	26,432	11,480	126.94
天草郡苓北町	6,858	3,113	67.58
合計	112,092	51,338	878.38

3 沿革の概要

《昭和》

29年	4月	本渡市消防本部が発足する。（職員4人）
	8月	本渡市消防署が発足する。（1本部、1署、車両1台、職員19人）
39年	4月	牛深市消防本部が発足する。（1本部、1署、車両1台、職員18人）
	10月	本渡中央商店街の大火
41年	12月	本渡市消防本部、消防署、庁舎が落成
45年	3月	本渡市消防署瀬戸分駐所が開所する。
46年	4月	本渡地区消防組合（本渡市、有明町、新和町、五和町）が発足する。 (1本部、1署、3分署、1分駐所、車両18台、職員80人) 消防吏員37人採用 新規採用者熊本県消防学校へ入校（30人）
47年	4月	消防吏員8人採用（職員85人） 天草広域消防組合設立準備室が発足する。
48年	1月	天草消防組合規約が議決される。（2市13町）
	2月	化学消防車購入、中央消防署へ配備する。
	4月	本渡市、牛深市、大矢野町、松島町、有明町、姫戸町、龍ヶ岳町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、芥北町、天草町、河浦町、で天草消防組合が発足する。（1本部、2署、8分署、車両34台、定員146人） 瀬戸分駐所を分署へ改署 組合管理者に横山寛人氏、消防長に山崎光義氏（初代）が就任 消防吏員25人採用（職員162人） 新規採用者熊本県消防学校へ入校（16人）
	5月	大矢野分署、河浦分署が開署する。
	7月	新規採用者熊本県消防学校へ入校（9人）
	9月	熊本県消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	10月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	11月	東天草分署、松島分署が開署する。 日本赤十字社熊本県支部（天草地区建設業協会補助）から救急自動車の寄贈を受ける。
49年	1月	消防ポンプ自動車購入、松島分署及び河浦分署へ配備する。
	2月	「あましう」創刊号を発行する。
	4月	西天草分署が開署する。 消防吏員16人採用（職員161人） 日本自動車工業会及び日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。（2台）
	5月	瀬戸分署が閉署する。
	10月	消防艇「ごしうら」が進水、御所浦分駐所が開所する。
	11月	有明分署「菊花鉢」の配布始める。155鉢
	12月	はしご付き消防ポンプ自動車を購入、中央消防署へ配備する。
50年	3月	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	8月	消防吏員1人を採用（職員162人） 消防吏員1人を採用（職員162人）
	9月	消防ポンプ自動車購入、大矢野分署及び西天草分署へ配備する。
51年	4月	職員定数186人とする。消防吏員20人採用（職員180人） 新規採用者熊本県消防学校へ入校（20人） 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	10月	消防ポンプ自動車購入、有明分署及び新和分署へ配備する。
52年	2月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	3月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	5月	全署、分署に救助技術訓練施設が完成 消防吏員2人採用（職員182人）
	9月	消防大学校予防科第23期入校（1人） 消防ポンプ自動車購入、南消防署へ配備する。
53年	1月	消防大学校警防科第19期入校（1人）
	3月	熊本県町村職員退職手当組合に加入
	4月	消防大学校予防科第24期入校（1人）
	5月	消防大学校救急科12期入校（1人）

54年	10月	消防本部を組織改革する。総務課（4係）警防課（3係）
	12月	南消防署車庫増築工事竣工
	4月	消防吏員6人採用（職員186人）
	9月	日本消防協会から救急自動車の交付を受ける。
		消防大学校危険物保安科第4期入校（1人）
	10月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。 天草消防組合音楽隊が結成される。
	11月	はしご付き消防ポンプ自動車購入、南消防署へ配備する。
	55年 3月	広域消防発足10周年記念大会を開催する。 消防庁長官功労章を山崎光義消防長が受ける。
	4月	職員定数198人とする。消防吏員9人採用（職員194人）
	5月	第3回全国消防職員意見発表会へ九州地区代表として山下弥平消防士が出場する。
55年	6月	天草地域少年婦人防火委員会が発足する。
	7月	消防大学校予防科第28期入校（1人）
	8月	消防艇「第2ごしょうら」が進水
	10月	苓北分署開署、北天草分署を「五和分署」と改める。 天草本渡ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。 熊本県消防駅伝大会が大矢野町で開催される。
	12月	救急自動車購入、苓北分署へ配備する。
	56年 1月	九州地区消防駅伝大会で初優勝（長崎・諫早市） 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	2月	消防ポンプ自動車CD-I型購入、五和分署及び苓北分署へ配備する。
	3月	救急自動車購入、大矢野分署へ配備する。 苓北分署庁舎竣工 救急無線波を導入する。
	5月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。 山崎光義消防長退任
	8月	消防長に山下金廣氏（第二代）就任
56年	10月	消防本部、中央消防署増改築工事起工
	11月	熊本県総合防災訓練を牛深市で実施する。
	1月	九州地区消防職員駅伝大会で優勝（熊本市） 消防大学校警防科第27期入校（1人）
	2月	消防ポンプ自動車CD-I型購入、南消防署へ配備する。
	3月	救急自動車購入、五和分署へ配備する。 消防本部、中央消防署増改築工事竣工
	4月	消防大学校予防科第32期入校（1人）
	10月	日本防火協会から防火広報車の交付を受ける。 南消防署庁舎改修工事竣工
	11月	連絡車3台購入、有明分署及び新和分署並びに五和分署へ配備する。 九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（福岡市）
	12月	有明分署、新和分署、五和分署庁舎塗装工事竣工
	57年 1月	中央消防署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
57年	2月	救急自動車購入、東天草分署へ配備する。
	3月	消防吏員4人採用（職員195人）
	4月	消防大学校予防科第34期入校（1人）
	6月	全国消防職員意見発表会で富安國男士長が最優秀賞となる。
	8月	消防大学校警防科第31期入校（1人）
	9月	天草広域消防連絡協議会が結成される。
	10月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（伊万里市） 救急自動車購入、中央消防署へ配備する。
	11月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	12月	組合管理者横山寛人氏退任
	58年 1月	組合管理者に本渡市長、久々山義人氏就任 消防大学校救助科第10期入校（1人）
58年	2月	東天草分署庁舎改修工事竣工
	3月	九州地区消防職員駅伝大会で優勝（指宿市） 消防吏員5人採用（職員195人）
	4月	大矢野分署、西天草分署庁舎改装工事竣工

		九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（福岡市） 消防はしご乗り隊を結成する。
61年	12月	119番本部通信指令室集約（有明町、栖本町、新和町、五和町）
	3月	山下金廣消防長退任
	4月	消防長に中野孝一氏（第三代）就任 119番本部通信指令室集約（御所浦町）
	6月	消防大学校警防科第39期入校（1人）
	10月	中央消防署はしご自動車オーバーホール
	11月	消防本部の指令車、松島分署、東天草分署、河浦分署の連絡車を更新する。 九州地区消防職員駅伝大会で優勝（大分市） 第1回屋内消火栓操法大会を開催する。
	12月	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車II型を更新する。
	1月	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	河浦分署庁舎改装工事竣工 消防大学校予防科第42期入校（1人）
	6月	輸送車購入、消防本部へ配備する。
62年	8月	日本消防協会から電源照明車の交付を受ける。
	9月	天草町もみじ保育園、しらさぎ保育園に幼年消防クラブが結成される。 中央消防署改装工事竣工
	11月	九州地区消防職員駅伝大会で準優勝（西都市）
	12月	南消防署の水槽付消防ポンプ自動車、南消防署と大矢野分署の救急自動車2台を更新する。
	1月	指令車購入、消防本部へ配備する。
	3月	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	新和町大多尾少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。 消防吏員7人採用（女性消防士2人採用、職員197人） 消防大学校救助科第18期入校（1人）
	5月	指令車購入、南消防署へ配備する。 有明分署庁舎改装工事竣工
	9月	松島町愛光園に幼年消防クラブが結成される。
	10月	龍ヶ岳無線固定局増設及び中継局舎改築工事竣工 自治体消防制度40周年・天草消防組合発足15周年記念「消防フェスティバル天草」を開催する。
63年	12月	有明分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	1月	天草消防組合特別救助隊が発足する。（1日）
《平成》		
元年	1月	元号が平成となる。（8日）
	2月	「記者と消防の集い」を開催する。
	3月	第1回自転車ロード耐久訓練実施（天草下島一周140キロ） 救助工作車（II型）購入、中央消防署へ配備する。
	4月	熊本県消防学校研修教官派遣（～9月・1人）
	6月	消防大学校警防科第45期入校（1人）
	10月	熊本県消防学校研修教官派遣（～3月・1人）
	11月	くまもと“89ふるさと消防フェア”（アスペクタ）にはしご乗り隊が出演する。
	1月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。
	2月	天草消防組合音楽隊10周年記念演奏会を開催する。
	3月	姫戸町牟田少年消防クラブが全国運営指導協議会長から優良なクラブの表彰を受ける。
2年	4月	消防本部の組織を改革する。（企画情報室を新設、警防課を防災課へ名称変更） 熊本県消防学校研修教官派遣（～9月・1人） 消防吏員4人採用（職員196人）
	7月	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
	8月	本渡市に星光園婦人防火クラブが結成される。 日本消防協会から救急自動車の交付を受ける。
		松島分署庁舎改装工事竣工
		潜水救助隊が発足する。
	10月	消防署の組織を見直しする。救急救助係が設けられ、係長、主任制度が導入される。 御所浦分駐所を御所浦分署へ名称変更

	11月	苓北町に幼年消防クラブが6クラブ結成される。（富岡保育園、志岐保育園、坂瀬川保育園、宮原保育園、国照寺保育園、都呂々保育園）
3年	1月	消防大学校予防科第49期入校（1人）
	2月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。 河浦分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	4月	消防吏員5人採用（職員198人）
	7月	署内報「あましょう」200号となる。 エンシニタス市へ消防国際交流派遣（1人）
	8月	日本消防協会から軽可搬ポンプの交付を受ける。（星光園） 救急救命中央研修所入校（1人）
4年	10月	第1回天草地域幼年消防大会を開催する。
	1月	消防大学校幹部研修科入校（1人） 松島分署消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	2月	防災指導車購入、消防本部へ配備する。
	3月	「阿蘇の火まつり」アスペクタにはしご乗り隊が出演する。 高規格救急自動車（かわせみ号）、救急普及啓発広報車（いるか号）を購入し、消防本部と中央消防署へ配備する。 嵐口少年消防クラブが日本防火協会から優良少年消防クラブの表彰を受ける。 小冊子「消防の仕事」を作成し、各小学校へ配布する。
	4月	救急救命中央研修所入校（1人） エンシニタス市消防局から消防国際交流研修生来署（1人）
	5月	消防大学校幹部研修科入校（1人）
	6月	初の救急救命士誕生（1人） 南消防署はしご車オーバーホール 日本消防協会から軽可搬ポンプの交付を受ける。（星光園）
	8月	全国消防救助技術大会（水上の部）で戸村羊士消防士が全国一に輝く。
	9月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。
	10月	第13回全国消防操法大会（小型ポンプの部）で五和町が準優勝
	11月	天草地域災害弱者緊急通報システムが運用を開始する。（本渡市、牛深市、松島町、有明町、姫戸町、龍ヶ岳町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町、河浦町）
5年	1月	本渡市のさくら保育園、めぐみ保育園に幼年消防クラブが結成される。
	3月	消防庁長官功労章を中野孝一消防長が受ける。 日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受ける。
		高浜少年消防クラブが日本防火協会から優良少年消防クラブの表彰を受ける。 西天草分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
	4月	平成5年度全国統一防火標語に坂本康介消防副士長の作品が第一席となる。 消防吏員5人採用（職員198人） 119番を消防本部通信指令室に集約する。（松島町、姫戸町、龍ヶ岳町、倉岳町、苓北町、天草町）1市11町へ拡大
	8月	第1回天草広域消防近代化検討委員会を開催する。 組合のシンボルマークが決まる。
	10月	第10回全国婦人消防操法大会に星光園婦人防火クラブが出場 天草消防組合20周年記念事業を開催する。 「天草消防のあゆみ」記念誌を発刊する。
		救急救命士東京研修所入所（1人）
	11月	第19回熊本県消防職員親善駅伝大会で10連覇を達成 天草地域幼少年婦人防火委員会が日本防火協会から優良団体表彰を受ける。
	12月	中央消防署倉岳分遣所が開所する。 新和分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
6年	1月	消防大学校幹部研修科入校（1人）
	2月	中央消防署の化学消防車III型、消防本部の防火広報車、苓北分署の連絡車を更新する。 倉岳分遣所の無線基地局及び固定局「天消倉岳」が開局する。
	3月	坂本康介消防副士長が火災予防功労が評価され熊本県知事表彰を受ける。 通信指令室の地図検索装置を更新する。 消防本部の運搬車を更新する。 阿村少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。 中野孝一消防長退任

- 4月 消防長に堤内智紹氏（第四代）就任
職員定数202人とする。消防吏員6人採用（職員202人）
- 5月 第1回救急隊員病院研修を実施する。
連絡車購入、倉岳分遣所へ配備する。
- 6月 第1回上級救命講習会開催24人に修了証を交付する。
熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受ける。（5台目）
- 7月 第1回応急手当指導員講習会を実施する。
エンシニタス市へ消防国際交流派遣（1人）
- 8月 第20回熊本県消防ポンプ操法大会が本渡市で開催される。
日本消防協会から御所浦町婦人消防隊が軽可搬ポンプの交付を受ける。
- 9月 無線局の識別信号を変更する。
- 11月 防災行政無線の一括集中制御卓の運用を開始する。（本渡市、有明町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、苓北町、天草町）
- 7年 12月 本渡市に宮口区婦人防火クラブが結成される。
- 1月 消防大学校警防科入校（1人）
- 3月 化学消防自動車I型購入、苓北分署へ配備する。
東天草分署の消防ポンプ自動車CD-I型を更新する。
- 4月 大道少年消防クラブが日本防火協会から優良クラブの表彰を受ける。
職員定数225人とする。消防吏員26人採用（職員225人）
倉岳町に苓陽幼稚園幼年消防クラブが結成される。
- 5月 全国消防長会特別功労表彰を堤内智紹消防長が受ける。
本渡市に東向寺保育園幼年消防クラブが結成される。
- 8月 熊本県建設業協会天草支部から救急自動車の寄贈を受ける。（河浦分署）
- 10月 救急救命九州研修所入校（1人）
熊本県消防学校研修教官派遣（1年間、1人）
エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（消防長、研修生）
- 11月 第1回天草地域幼少年婦人防火大会が開催される。
有明分署、新和分署の連絡車を更新する。
御所浦分署に救急自動車を配備する。
- 8年 1月 消防大学校警防科入校（1人）
第1回大規模災害熊本県消防広域応援合同訓練が開催される。（熊本市）
- 3月 全国少年消防クラブ運営指導協議会から牟田少年消防クラブが特に優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、南消防署に配備する。
堤内智紹消防長退任
- 4月 消防長に磨田敦男氏（第五代）が就任
5人目の救急救命士誕生
- 7月 日本防火協会から防火広報車の交付を受ける。
- 8月 第21回熊本県消防ポンプ操法大会が小国町で開催される。
小型ポンプの部で本渡市消防団、ポンプ車の部で栖本町消防団が優勝
- 9月 大規模救急救助総合訓練を天草消防組合、警察、天草都市医師会3団体合同で実施（杵宇土町）
エンシニタス市へ消防国際交流派遣（1人）
南消防署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
- 10月 第21回全国消防操法大会に本渡市消防団が出場し8位に入賞する。
天草地域幼少年婦人防火委員会が防火新聞「あこう」を創刊
日本消防協会から宮口区婦人防火クラブへ軽可搬ポンプの交付を受ける。
日本防火協会から今津少年消防クラブが優良なクラブ表彰を受ける。
- 11月 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が開催される。（合志町）
倉岳分遣所新庁舎が竣工する。
- 9年 1月 消防大学校予防科入校（1人）
- 2月 河浦町に幼年消防クラブー町田保育所ちびっこ幼年消防クラブが結成される。
- 3月 第19回職員意見発表会が大矢野町総合体育館で開催される。
小型動力ポンプ付き水槽車を購入中央消防署に配備する。
全国少年消防クラブ運営指導協議会から天附少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
- 4月 防護服（サラトガN B C）5着の導入
- 6月 第1回応急手当普及啓発指導大会を開催する。
- 7月 エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生1名）

		五和町手野保育所、城河原保育所に幼年消防クラブが結成される。
8月		全国消防救助技術大会で吉本賢一消防士が水上の部複合検索で第1位となる。
		日本消防協会から防災用車両資機材（軽可搬式消防ポンプ樋合・婦人防火クラブ、応急救護器具・宮口区婦人防火クラブ）の交付を受ける。
9月		大矢野分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
10月		婦人防火全国大会が熊本市で開催され、天草地域から牛深ハイヤ婦人防火クラブが出演する。
		第7回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を開催する。
		消防大学校警防科入校（1人）
11月		五和分署が移転、新庁舎が落成する。
		天草空港予定地で熊本県消防協会天草郡支部防災訓練を実施する。
12月		天草地域で新たに牛深市、松島町、姫戸町、御所浦町、五和町で幼年消防クラブを結成、33団体となる。また自主防災組織が58団体となる。
10年	2月	第20回消防職員意見発表会を松島町の「アロマ」で開催する。
	3月	中央消防署の梯子付き消防自動車（30メートル級）を更新する。
		五和分署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
		自治体消防50周年記念消防熊本大会がパーカドーム熊本で開催され、はしご乗り隊、音楽隊が参加する。また、星光園婦人消防隊、御所浦町婦人消防隊が軽可搬消防ポンプ模範操法を披露する。
		全国少年消防クラブ運営指導協議会から登立小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
4月		消防吏員4名を採用（実員225人）
		8人目の救急救命士誕生
5月		龍ヶ岳町に4つの幼年消防クラブ（大道、高戸、樋島、下桶川保育所）が結成される。
7月		倉岳町に3つの女性防火クラブ（倉岳ポピー、倉岳レインボー、宮田えびす）が結成される。
		消防交流研修生としてエンシニタス市へ1名派遣
8月		第22回熊本県ポンプ操法大会ポンプ車の部で栖木町消防団が優勝する。
		第27回全国消防救助技術大会に10人が出場する。
		日本消防協会から防災機器の交付をうける。C I級軽可搬式消防ポンプ付き軽積載車を御所浦町婦人消防隊、D 1級軽可搬消防ポンプを宮口区婦人消防隊、応急救護資機材を樋合婦人消防隊へ交付する。
9月		御所浦分署救急隊が熊本県知事の救急功労表彰を受ける。
		消防大学校上級幹部科入校（1人）
10月		携帯電話からの119番受付を開始する。
		アジア消防長協会総会が福岡市で開催され、九州地区消防音楽隊フェスティバルに音楽隊が出演する。
		第2回天草地域幼少年婦人防火大会を開催する。
		日本防火協会から苓陽幼稚園幼年消防クラブが優良クラブの表彰を受ける。
11月		消防協会天草郡支部防災訓練を有明町で開催する。
		第21回消防職員意見発表会を龍ヶ岳町で開催する。
11年	2月	防火防災ビデオを中学・高校へ配布する。
	3月	消防年報をA4版として発行する。
		南消防署の消防ポンプ自動車CD-I型に更新する。
		有明分署の救急自動車を更新し、救急資器材9項目を積載する。
4月		熊本県共済農協連合会から救急自動車（2B型）の寄贈を受ける。
		天草地域災害弱者緊急通報システム運営協議会が発足する。
		天消アポロキヤップを作成する。
6月		新和町に3つの幼年消防クラブ（大多尾保育所さくら・小宮地保育所ひだまりの里・小宮地幼稚園）が結成される。
7月		4人目の消防国際交流研修生が来署
		日本消防協会から防災用車両資機材（軽可搬式消防ポンプー宮田えびす婦人消防隊）の交付を受ける。
		第28回全国消防救助技術大会に5人が出場する。
		熊本県消防職員剣道大会団体戦で優勝する。
9月		消防協会天草郡支部防災訓練を天草町で開催する。
10月		第8回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を開催する。
		第14回全国婦人消防操法大会に樋合婦人消防隊が出場する。
11月		第22回消防職員意見発表会を本渡市で開催する。

		倉岳町に幼年消防クラブ（倉岳保育所）が結成される。
12年	2月	熊本県消防職員駅伝大会16年連続21回目の優勝
	3月	天草消防組合消防音楽隊20周年記念演奏会を開催する。
		天草広域消防連絡協議会が天草消防情報誌『絆』創刊号を発行する。
		天草空港航空機事故消火救難総合訓練を五和町で開催する。
		天草消防組合管理者 久々山義人氏退任
	4月	消防吏員4名を採用（実員223人）
		新消防緊急通信指令システムの運用を開始する。
		天草消防組合管理者に安田公寛本渡市長が就任する。
	7月	消防大学校警防科入校（1人）
	8月	熊本県消防剣道大会で団体の部（2年連続）、個人の部ともに制覇する。
		第29回全国消防救助技術大会が熊本市で開催され20人が出場し、水上の部の複合検索で吉本賢一消防士が2度目の全国1位となる。
	9月	松島分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
		第23回熊本県消防ポンプ操法大会が山鹿市で開催され、小型ポンプの部で牛深市消防団が優勝する。
		天草地域災害弱者緊急通報システムの緊急通報センター（消防本部）及び各市町相談センターの機器更新を行う。
	10月	消防国際研修生としてエンシニタス市へ1人派遣する。
		日本防火協会から「煙体験ハウス」の助成を受ける。
	11月	熊本県消防職員駅伝大会17年連続22回目の優勝
		熊本県消防協会天草郡支部防災訓練が姫戸町で開催される。
13年	2月	熊本県総合防災展が本渡市の「九州ジャスコ本渡店」で開催される。
	3月	天草空港総合防災訓練
	4月	消防大学校幹部研修科入校（1人）
		第23回熊本県消防職員意見発表会（本渡市）
	5月	中央消防署高規格救急自動車を更新する。
	6月	天草消防組合解散
	7月	天草広域連合に統合編入される。職員定数218人とする。
		第13回熊本県消防職員剣道大会個人の部で樋木副士長2連覇
		中央消防署消防ポンプ自動車CD-I型を更新する。
	8月	第30回全国消防救助技術大会に20人が出場する。引揚救助で全国制覇
	9月	東天草分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	第9回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡市運動公園で開催する。
	11月	第4回県下消防大規模災害対応訓練が五和町で開催される。
		熊本県幼年消防大会が松島町総合センター「アロマ」で開催される。
		熊本県消防協会天草支部の防災訓練が新和町大多尾港埋立地で開催される。
14年	12月	防災消防ヘリコプターの運用要領研修会が本渡市営陸上競技場で催される。
	1月	熊本県建設業協会天草支部から救急自動車（新和分署）の寄贈を受ける。
	3月	五和分署救急自動車を更新する。
		熊本市の上通、手取本町市街地総合防災訓練に中央消防署はしご小隊が応援出動する。
		消防庁から生物・化学剤災害対策用消防活動資機材を貸与される。（熊本・八代・天草の3消防本部）
	4月	消防吏員8人を採用（実員217人）
	5月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生1名）
		松島有料道路開通を前に西の浦トンネルで防災訓練を実施する。
	8月	第24回熊本県消防ポンプ操法大会が八代市で開催され、小型ポンプの部で牛深市消防団が前回に引き続き優勝する。
		第31回全国消防救助技術大会に8人が出場する。水中検索で全国3位
	9月	第1回天草救急医療連絡協議会が消防本部で開催される。
		五和分署救急隊が救急医療功労団体の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	消防大学校予防科入校（1人）
		新規採用職員が本渡市内の給油取扱所において異業種職場研修を実施する。
		消防国際研修生としてエンシニタス市へ1人派遣する。
	11月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練のため救急隊が鹿児島市へ出向
	12月	県消防協会天草支部の防災訓練が栖本町で開催される。
15年	1月	消防本部指揮車を更新
	3月	南消防署梯子付消防自動車を更新（24m級）

		大矢野分署水槽付消防ポンプ自動車を更新 松島分署救急自動車を更新
4月		「天草広域消防30周年」を迎える。 消防吏員5人を採用(218人) 熊本県消防学校初任科46期5人入校
		天草地域メデカルコントロール協議会発足(天草郡市医師会、天草保健所、基幹病院4施設、消防の7機関で構成)
7月		熊本県防災消防航空隊派遣(2年間・1人) エンシニタス市から消防国際交流研修生来署(ジャック・グラスフォード氏) 輸送車(ニッサン・シビリアン)更新(消防本部配備)
		水俣市(宝川内地区等)で土石流による災害発生(死者19人)、当本部から7日間、延91人が熊本県消防広域応援基本計画に基づき出動する。
8月		第32回全国消防救助技術大会(仙台市)に7人が出場 平成15年度熊本県総合防災訓練が本渡市で開催される。
9月		有明分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
10月		第10回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催
		天草広域消防30周年記念誌「天消のあゆみ」作成
11月		第29回熊本県消防職員駅伝大会で23回目の優勝 御所浦町婦人消防隊平本イクヨ隊長が婦人消防隊育成功労者として日本消防協会会长表彰を受ける。 阿村少年消防クラブが優良少年消防クラブとして日本防火協会会长表彰を受ける。
16年	1月	大矢野分署普通救急自動車を高規格救急自動車に更新 自治体消防55周年記念大会(東京ドーム) 緊急資機材搬送車を購入(消防本部へ配備)
		南消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新 消防大学校予防科入校(1人)
2月		署内報「あましよう」30周年を迎える。
3月		五和町消防団、日本消防協会から「まとい」受章 第24回消防職員意見発表会を有明町で開催する。
		磨田敦男消防長が平成15年度消防庁長官表彰「功労章」を受章 牛深市消防団が消防庁長官表彰「表彰旗」を受章
7月		上天草市誕生(大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町)31日付 消防国際研修生としてエンシニタス市へ1人派遣する。
		えんけいじ保育園幼年消防クラブ(本渡市)、あそか保育園幼年消防クラブ(上天草市)が発足する。
8月		第1回南九州消防職員親善剣道大会(球磨郡)で個人、団体とも優勝 第25回熊本県消防ポンプ操法大会(菊池市)で開催され、本渡市が小型ポンプの部で3位入賞する。
9月		河浦分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
10月		県消防協会天草支部の防災訓練が御所浦町で開催される。
11月		各種災害対応救出救助訓練大会を五和分署で開催する。 東天草分署、苓北分署救急車を高規格救急自動車へ更新する。 第3回天草地域幼少年婦人防火大会を本渡市民センターで開催する。
17年	1月	消防大学校警防科入校(1人) 平成16年度県消防協会定例表彰で牛深市消防団が特別表彰の「まとい」を受章
		全国少年消防クラブ運営指導協議会から上天草市立上小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 有明分署消防ポンプ自動車を更新する。
3月		磨田敦男消防長退任
4月		浦上政志消防長(第六代)就任(実員214人) 杉本司令補を総務省消防庁防災課へ派遣。
7月		エンシニタス市からハイザー消防長他7人来署
8月		第34回全国消防救助技術大会(さいたま市)に1人が出場する。
9月		倉岳分遣所救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。 消防大学校予防科入校(1人)
10月		第11回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。
11月		各種災害対応救出救助訓練大会を五和分署で開催する。 県消防協会天草郡支部の防災訓練が倉岳町で開催される。 第25回消防職員意見発表会を河浦町で開催する。

18年	2月	牛深市消防団、日本消防協会から「まとい」受章 中央消防署救助工作車、水槽付消防ポンプ自動車（消防2号車）更新
	3月	有馬健治司令長が平成17年度消防庁長官表彰「功労章」を受章 天草市誕生（本渡市、牛深市、有明町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町、天草町、河浦町）27日付け
		松下和則司令と川端正史司令が、平成17年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4月	消防吏員8人を採用（実員217人） 第17回熊本県救急教育セミナーが天草地域医療センターで開催される。
	5月	第29回熊本県消防職員意見発表会（富合町）で本山消防士が優秀賞を受章する。
	8月	第35回全国消防救助技術大会（札幌市）に延べ13人が出場し、ロープブリッジ救出で瀧本班が3位に入賞する。 第26回熊本県消防ポンプ操法大会が人吉市で開催され上天草市が4位に入賞する。
	9月	西天草分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	10月	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練のため北九州市出向 消防大学校火災調査科入校（1人）
	12月	倉岳分遣所救急車を高規格救急車へ更新する。
	19年 1月	有明分署が33年に亘る菊花配布が認められ第11回防災まちづくり大賞「住宅防火部門」消防庁長官賞を受賞する。
	3月	浦上政志消防長が平成18年度の消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 芦北町消防団が消防庁長官表彰「表彰旗」を受章 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市立新和小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。 新消防救急艇「ごしうらⅢ」が就航する。
19年	4月	東天草分署新庁舎が落成する。 濱田副士長を総務省消防庁消防・救急課へ派遣 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間・1人）
	8月	消防吏員3人採用（実員218人、うち派遣1人） 第36回全国消防救助技術大会（東京都）へ12人が出場する。
	9月	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車の寄贈を受ける。
	10月	新和分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。 第39回九州地区消防職員親善剣道大会、団体の部で初優勝
	11月	丸田光二司令補が第55回全国消防技術者会議で「多目的救助ネットの考案」発表 消防大学校危険物科入校（1人） 第12回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。
		南消防署高規格救急自動車を更新 第4回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。
		第26回消防職員意見発表会を新和町で開催する。
	12月	Eメール119番受信システム運用開始 消防情報メール配信システム運用開始
	20年 1月	河浦分署水槽付消防ポンプ自動車を更新
	3月	第10回全国消防広報コンクール「広報写真部門」で入選 自治体消防60周年記念大会（東京ドーム）
		鶴田徳雄司令長が平成19年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 署内報「あましょう」400号を発刊
20年	4月	全国消防長会特別表彰を浦上政志消防長受賞 消防吏員6人を採用（実員218人、うち派遣1人）
	6月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	7月	エンシニタス市消防局から消防国際交流来署（研修生1名）
	8月	第37回全国消防救助技術大会（北九州市）に2種目4人が出場する。 第27回熊本県消防ポンプ操法大会が阿蘇市で開催され天草市が2位に入賞する。
	9月	芦北分署救急隊が救急医療功労者の熊本県知事表彰を受ける。
	11月	天草広域連合消防音楽隊発足30周年記念演奏会を天草市民センターで開催する。
	2月	多数傷病者救急救助総合訓練を天草市港町で開催する。 署内報「あましょう」35周年を迎える。
		天草広域連合消防庁舎建設検討委員会を設置
	3月	第20回全国消防本部対抗駅伝で陸上部が4位に入賞する。
		増田民雄司令長、長川布治作司令長、山田幸明司令が平成20年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章

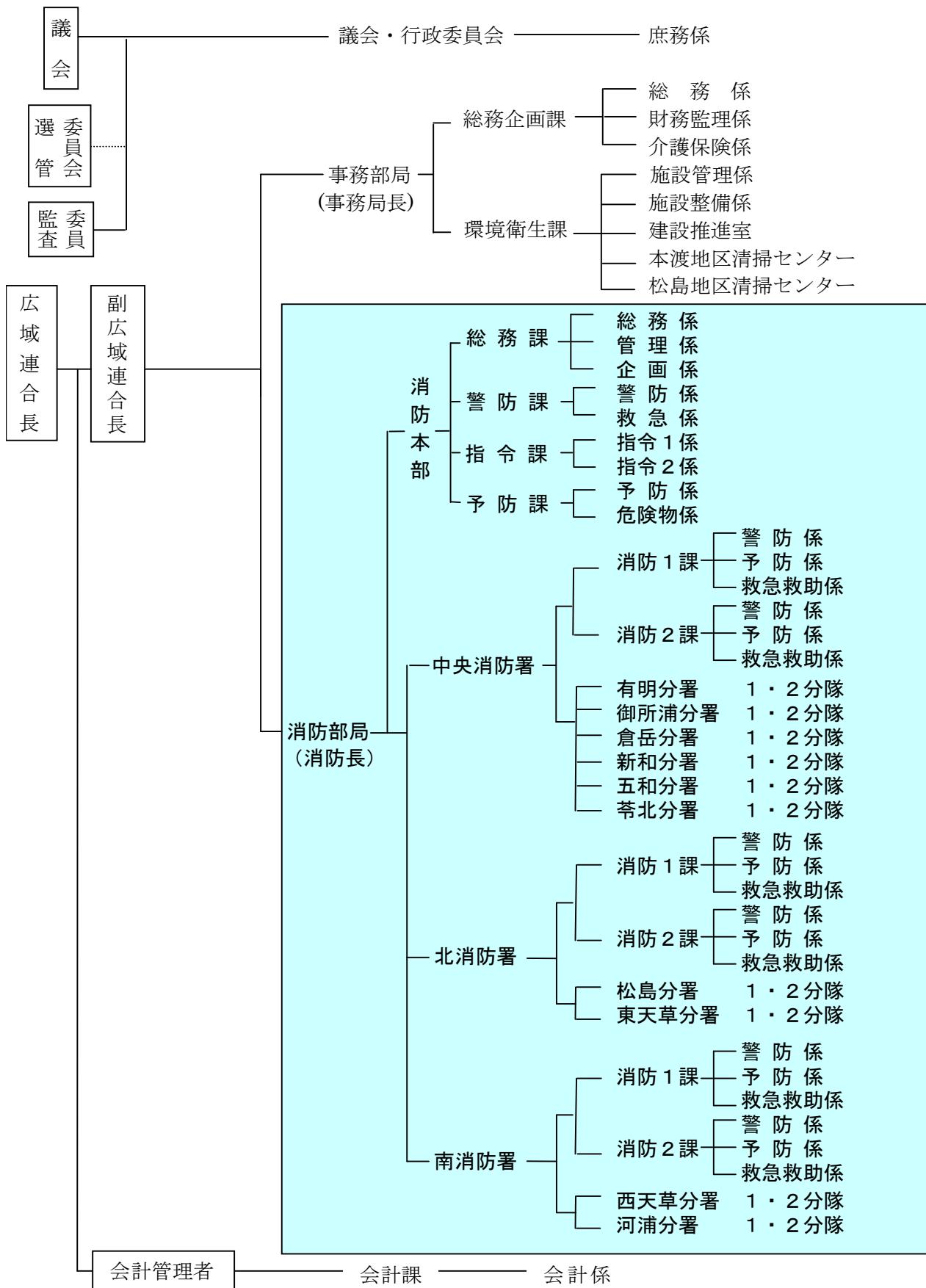
		「天消のあゆみ」記念誌を発刊する。
		全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市牛深少年消防クラブがシルバー消太賞の表彰を受ける。
		浦上政志消防長退任
4月		園田長男消防長就任（第七代）
		消防吏員7人採用（実員213人、うち派遣1人）
		消防大学校救助科入校（1人）
		新和分署及び五和分署が分遣所へ移行
		第29回熊本県救急教育セミナーが天草地域医療センターで開催される。
5月		天草広域連合消防分署分遣所移行計画諸問題検討会を設置
8月		第38回全国消防救助技術大会（横浜市）に2種目9人が出場する。
11月		河浦分署普通救急自動車を高規格救急車に更新 有明分署の菊花配布が、36年間で総数6,663鉢を配付して終了した。 第13回自衛消防隊屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。
22年	2月	第27回消防職員意見発表会を消防本部で開催する。
	3月	園田長男消防長が平成21年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 中央消防署及び大矢野分署高規格救急車を更新 全国少年消防クラブ運営指導協議会から天草市久玉少年消防クラブが優良な少年消防クラブの表彰を受ける。
		園田長男消防長退任
4月		小松英雄消防長就任（第八代）
		消防吏員11人採用（実員211人、うち派遣1人）
		有明分署が分遣所へ移行 天草広域連合広域計画策定審議会を設置 熊本県消防学校教官派遣（2年間1人）
7月		天草広域連合広域計画策定審議会より答申を受ける。
8月		第39回全国消防救助技術大会（京都市）に1種目5人が出場する。 第28回熊本県消防ポンプ操法大会が荒尾市で開催され、小型ポンプの部で天草市が2位、3位に入賞する。
10月		エンシニタス市からハイザー元消防長ら4人が表敬訪問
11月		有明分遣所高規格救急自動車を更新 天草空港航空機事故消火救難総合訓練を開催する。 第5回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第2次天草広域連合広域計画が議会定例会で議決される。
23年	1月	消防大学校予防科入校（1人）
	3月	越口文男司令長、若山幸信司令長が平成22年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 東日本大震災へ熊本県緊急消防援助隊として救急隊及び後方支援隊を派遣（第1次隊6人、第2次隊6人）
		南消防署が久玉町へ新築移転
4月		消防吏員11人採用（実員212人、うち派遣2人） 4分遣所（有明、倉岳、新和、五和）を分署へ名称変更
9月		消防大学校幹部科入校（1人）
10月		九州地区消防音楽隊演奏技術研修会を天草市で開催する。 新和分署高規格救急車を更新する。
		御所浦分署及び倉岳分署に小型動力ポンプ付積載車を配備する。
11月		第28回消防職員意見発表会を牛深町で開催する。
12月		第3回全国消防職員剣道大会で天草消防剣道部が3位入賞する。
24年	3月	全国少年消防クラブ運営指導協議会から上天草市中南小学校少年消防クラブが優良な少年消防クラブ表彰を受ける。 小松英雄消防長退任
	4月	鳥羽瀬博文消防長就任（第九代）
		消防吏員11人採用（実員216人、うち派遣1人、再任用職員3人） 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間1人）
4月		消防大学校火災調査科入校（1人）
8月		第29回熊本県消防ポンプ操法大会が天草市で開催され、小型ポンプの部で天草市消防団が優勝する。 天草ガスより査察車の寄贈を受ける。
10月		消防大学校警防科入校（1人）

25年	3月	富安國男消防監、花谷雄治司令長が平成24年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 消防本部・中央消防署庁舎建設の起工式が行われる。
	4月	消防吏員9人採用（実員212人、うち派遣1人、再任用職員3人）
	5月	東天草分署連絡車を更新する。
	8月	第42回全国消防救助技術大会（広島市）に2種目8人が出場する。
	10月	消防大学校火災調査科入校（1人）
	11月	第6回天草地域幼少年婦人防火大会を天草市民センターで開催する。 第15回屋内消火栓操法大会を本渡運動公園で開催する。 消防団120年・自治体消防65周年記念大会が東京ドームで開催される。 第29回消防職員意見発表会を消防本部で開催する。
26年	1月	消防大学校予防科入校（1人）
	3月	鳥羽瀬博文消防正監、福田健児司令長、原田和喜司令長が平成25年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 消防本部・中央消防署庁舎が移転落成し、一般公開が行われる。 高機能消防指令システムを更新する。 鳥羽瀬博文消防長退任
	4月	森田泰司消防長就任（第十代） 消防吏員15人採用（実員211人、うち派遣1人） 総務省消防庁から拠点機能形成車の貸与を受ける。 安田公寛天草広域連合長退任 中村五木天草広域連合長就任（第二代） 第30回熊本県消防操法大会が人吉市で開催され、小型ポンプの部で天草市が優勝する。
	8月	熊本県総合防災訓練・天草市防災訓練が天草市大矢崎緑地公園で開催される。 消防大学校幹部科入校（1人）
27年	3月	鶴本豊治司令長が平成26年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 芥北分署化学消防自動車、東天草分署水槽付消防ポンプ自動車、松島分署高規格救急自動車を更新する。 消防救急デジタル無線基地局が完成する。（十万山基地局、老岳中継基地局、河浦中継基地局、平家城前進基地局）
	4月	消防吏員12人採用（実員209人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
	6月	消防大学校警防科入校（1人）
	8月	第44回全国消防救助技術大会（神戸市）に1人が出場する。
	10月	第7回屋内消火栓操法大会・消防救急フェアを開催する。
	11月	中央消防署防災研修車を購入する。 全国緊急消防援助隊合同訓練（千葉市）に参加する。
28年	2月	中央消防署化学自動車、西天草分署水槽付消防ポンプ自動車、五和分署高規格救急自動車を更新する。
	3月	消防救急デジタル無線が完成する。 森田泰司消防正監、野島幸一消防監、大塚和廣司令長、佐藤誠二司令長が平成27年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4月	大友晃消防長就任（第十一代） 大矢野分署を北消防署へ改め中央消防署、北消防署、南消防署の三署体制へと移行 消防吏員11人採用（実員211人） 熊本地震発生、熊本県消防広域応援基本計画に基づき、消火隊、救助隊、救急隊及び後方支援隊を派遣（1次隊22人、2次隊17人、3次隊3人） 熊本県防災消防航空隊派遣（3年間1人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）
	8月	消防大学校救助科入校（1人） 第45回全国消防救助技術大会（松山市）に5人が出場する。
	11月	第7回天草地域幼少年婦人防火大会を開催する。 北消防署指揮車を購入する。
29年	3月	新和分署及び御所浦分署新庁舎落成 山下弥平消防司令長が平成28年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章
	4月	消防吏員7人採用（実員214人） 熊本県消防学校教官派遣（1人）

	7月	平成29年「九州北部豪雨」発生、熊本県緊急消防援助隊として、指揮隊、救助隊、救急隊及び後方支援隊を派遣(21日間、計7隊98名を派遣)
	8月	第46回全国消防救助技術大会(仙台市)に8名が出場する。
	10月	第8回屋内消火栓操法大会が開催される。 消防大学校火災調査科入校(1人)
30年	1月	中央消防署御所浦分署救急車を購入する
	2月	北消防署新庁舎落成 北消防署救助工作車を購入する。
	3月	大友 晃消防正監、川口義広消防監が平成29年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 自治体消防70周年記念式典が国技館で開催される。
	4月	大友晃消防長退任 平野照幸消防長就任(第十二代) 消防吏員7人採用(210名)
	10月	熊本県消防学校教官派遣(1人) 消防大学校警防科入校(1人) 中央消防署、北消防署高規格救急車を更新する。
	11月	第32回消防職員意見発表会をホテルアレグリアガーデンズ天草で開催する。 中央消防署指揮車を更新する。
31年	3月	小型無人航空機「ドローン」の運用開始 平野照幸消防正監、菅原幸雄消防司令長が平成30年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 平野照幸消防長退任
	4月	寺中 晃消防長就任(第十三代) 消防吏員3人採用(実員211人) 天草地域災害弱者緊急通報システムの運用を構成市町が委託する民間業者へと移行させる。 熊本県消防学校教官派遣(2年間1人) 消防大学校救助科入校(1人)
《令和》		
元年	5月	元号が令和となる(1日)
	6月	消防大学校幹部科入校(1人)
	7月	有明分署及び西天草分署新庁舎落成
	8月	河浦分署新庁舎落成 天草広域連合消防本部高度救助隊が発足する。
2年	10月	第18回屋内消火栓操法大会を開催する。
	11月	第8回天草地域幼少年女性防火大会を開催する。 第33回消防職員意見発表会をホテルアレグリアガーデンズ天草で開催する。
	1月	天草信用金庫より災害対応支援車の寄贈を受ける。
	3月	寺中 晃消防正監が令和元年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 中央消防署消防ポンプ自動車CD-1型を更新する。 寺中 晃消防長退任
	4月	杉本博文消防長就任(第十四代) 消防吏員5人採用(実員215人)
	5月	多言語三者間通訳通話システムの運用を開始する。
	6月	天草設備株式会社より無人航空機「ドローン」の寄贈を受ける。 消防大学校危険物科入校(1人)
	7月	令和2年7月豪雨に伴う熊本県内消防相互応援隊として、消火隊、救助隊、捜索隊及び後方支援隊を派遣(29日間、延べ87名を派遣)
	9月	濱 優介消防士が第43回全国消防職員意見発表会で優秀賞を受賞
	12月	松島分署新庁舎落成 中村五木天草広域連合長が急逝される。
	2月	馬場昭治天草広域連合長就任(第三代) 梯子付き消防自動車を更新する。
	3月	消防大学校高度救助・特別高度救助コース(1名) 資機材搬送車を更新し水上バイク1台を導入する。 杉本博文消防正監、平山 剛消防監、平田日吉消防司令長が令和2年度消防庁長官表彰「永年勤続功労章」を受章 杉本博文消防長退任

3年 4月 益田徳仁消防長就任（第十五代）
消防吏員10名採用（実員215名）
消防本部を組織改革する。（火災原因調査を予防課へ移管。警防課の事務分掌を一部変更）
熊本県防災消防航空隊派遣（3年間1人）

4 天草広域連合の組織図



5 天草広域連合特別職及び役職名

令和3年 4月 1日現在

役職名	氏名	就任年月日	市町役職
広域連合長	馬場昭治	令和3年2月21日	天草市長
副広域連合長	堀江隆臣	平成26年12月22日	上天草市長
	田嶋章二	平成18年5月26日	苓北町長
議長	中尾友二	平成30年5月24日	天草市議
副議長	小西涼司	平成29年5月26日	上天草市議
会計管理者	宮崎政勝	令和2年4月1日	天草市会計管理者
監査委員	蓮池良正	平成30年5月24日	天草市
	寺本正和	平成29年9月1日	上天草市

6 消防本部・消防署事務分掌

(総務課)

総務係

- (1) 消防部門の涉外に関すること。
- (2) 消防部門の式典、儀礼及び交際に関すること。
- (3) 消防部門の苦情の処理に関すること。
- (4) 消防部門の公印に関すること。
- (5) 消防職員（以下「職員」という。）の任免、服務、賞罰及び身分に関すること。
- (6) 消防部門の福利厚生に関すること。
- (7) 消防長会及び消防協会に関すること。
- (8) 各市町消防担当課長会議及び消防担当者会議に関すること。
- (9) 消防部門の庶務に関すること。

管理係

- (1) 消防職員の貸与品に関すること。
- (2) 消防施設の維持管理に関すること。
- (3) 消防部門の車両の登録及び検査に関すること。
- (4) 消防部門の物品の購入、用度に関すること。
- (5) その他管理に関すること。

企画係

- (1) 消防行政の企画及び調整に関すること。
- (2) 消防部門の広報及び広聴に関すること。
- (3) 消防音楽隊に関すること。
- (4) 天草広域消防連絡協議会に関すること。
- (5) 梯子乗り隊に関すること。
- (6) その他企画情報に関すること。

(警防課)

警防係

- (1) 消防職員の教育訓練に関すること。
- (2) 防災計画及び訓練計画の作成並びに実施に関すること。
- (3) 消防相互応援及び出動計画に関すること。
- (4) 各種災害の統計に関すること。
- (5) 機械器具等の維持管理及び改善研究に関すること。
- (6) 救助業務の計画及び訓練に関すること。
- (7) 救助資機材に関すること。
- (8) 救助隊の掌握及び運営に関すること。
- (9) 救助技術の研究に関すること。
- (10) その他警防に関すること。

救急係

- (1) 救急業務の計画及び訓練に関すること。
- (2) 救急資機材に関すること。
- (3) 救急及び救命の研究に関すること。
- (4) 救急技術の指導及び救急知識の普及啓発に関すること。
- (5) その他救急に関すること。

(予防課)

予防係

- (1) 火災予防条例に関すること。
- (2) 建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。
- (3) 防火対象物の防火管理に関すること。
- (4) 消防用設備等に関すること。
- (5) 違反防火対象物の指導取締り及び措置命令に関すること。
- (6) 防火思想の普及及び指導に関すること。
- (7) 防火委員会に関すること。
- (8) 自衛消防隊及び少年消防クラブ等の指導育成に関すること。
- (9) 火災原因及び損害の調査に関すること。
- (10) その他予防に関すること。

危険物係

- (1) 危険物の規制に関すること。
- (2) 指定可燃物の規制に関すること。
- (3) 危険物取扱者及び保安監督者の指導育成に関すること。
- (4) 違反危険物施設の指導取締り及び措置命令に関すること。
- (5) 高圧ガス及び液化石油ガスの安全指導に関すること。
- (6) 危険物安全協会に関すること。
- (7) その他危険物に関すること。

(指令課)

指令1係、指令2係

- (1) 通信業務に関すること。
- (2) 通信施設の維持管理、改善に関すること。
- (3) 気象観測、気象情報及び災害情報に関すること。
- (4) 救急医療情報に関すること。
- (5) 消防統計に関すること。
- (6) その他通信に関すること。

(消防署・消防課)

警防係

- (1) 服務及び規律に関すること。
- (2) 職員の配置に関すること。
- (3) 統計及び広報に関すること。
- (4) 物品の出納及び保管に関すること。
- (5) 防災計画及び訓練計画の作成及び実施に関すること。
- (6) 火災の警戒防御に関すること。
- (7) 水災その他特殊災害に関すること。
- (8) 消防通信に関すること。
- (9) 消防気象に関すること。
- (10) 地理、水利に関すること。
- (11) 各種災害の調査及び報告並びに統計に関すること。
- (12) 火災原因及び損害等の調査に関すること。
- (13) 罹災証明に関すること。
- (14) 署の庶務に関すること。
- (15) その他警防に関すること。

予防係

- (1) 火災予防条例に関すること。
- (2) 少量危険物及び指定可燃物に関すること。
- (3) 危険物の規制に関すること。
- (4) 建築確認の同意に関すること。
- (5) 防火管理に関すること。
- (6) 消防用設備等に関すること。
- (7) 違反防火対象物の指導取締り及び措置命令に関すること。
- (8) 自衛消防隊及び少年消防クラブ等の指導育成に関すること。
- (9) その他予防に関すること。

救急救助係

- (1) 救急救助業務の実施に関すること。
- (2) 救急救助統計に関すること。
- (3) 救助隊の運営に関すること。
- (4) 救急救助及び消防機械器具等の教育訓練に関すること。
- (5) 消防機械器具の維持管理及び改善研究に関すること。
- (6) その他救急救助に関すること。

7 消防本部・消防署人員配置表

令和3年4月1日現在

区分		階級								計
		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
消防本部	小計	1		4	10	4	4	6	11	40
	消防長	1								1
	次長									
	総務課	課長		1						1
		総務係			1		1	1		3
		管理係			1		1(1)			2
		企画係			(1)					
	指令課	課長		1						1
		指令係			2	2	2	3	1	10
	警防課	課長		1						1
		警防係			1					1
		救急係			1					1
	予防課	課長		1						1
		予防係			3					3
		危険物係			1	1				2
派遣・消防学校等						1		2	10	13
消防署	小計		1	3	30	36	31	26	48	175
	中央消防署		1	1	8	5	3	6	8	32
	有明分署				1	1	4	3	1	10
	御所浦分署					4	3		3	10
	倉岳分署				1	2	2	1	4	10
	新和分署					4		4	2	10
	五和分署				1	3	3	1	2	10
	苓北分署				1	1	4	2	2	10
	北消防署			1	6	5	2	2	7	23
	松島分署				1	2	2	2	3	10
	東天草分署				1	2	2	2	3	10
	南消防署			1	8	2	2	1	6	20
	西天草分署				1	3	2		4	10
	河浦分署				1	2	2	2	3	10
合計		1	1	7	40	40	35	32	59	215

() は兼務

※再任用短時間勤務職員を除く

8 天草広域連合一般会計予算（当初）

(歳入)

(単位・千円)

款		令和2年度	令和3年度	比較
1	分担金及び負担金	3,227,219	3,294,456	67,237
2	使用料及び手数料	67,094	67,483	389
3	国庫支出金	88,169	31,650	△56,519
4	県支出金	30,927	31,855	928
5	財産収入	426	277	△149
6	寄附金	1	1	0
7	繰入金	0	0	0
8	繰越金	1	1	0
9	諸収入	21,470	19,515	△1,955
歳入合計		3,435,307	3,445,238	9,931

(歳出)

(単位・千円)

款		令和2年度	令和3年度	比較
1	議会費	1,496	1,496	0
2	総務費	76,688	75,806	△882
3	民生費	33,408	38,821	5,413
4	衛生費	1,189,865	1,217,119	27,254
5	消防費	2,118,425	2,096,721	△21,704
6	公債費	0	0	0
7	諸支出金	425	275	△150
8	予備費	15,000	15,000	0
歳出合計		3,435,307	3,445,238	9,931

9 消防予算(当初)

(歳入)

(単位・千円)

款	項	令和2年度	令和3年度	比 較	前年比 (%)
1 分担金及び 負担金	1 負担金	2,026,401	2,045,834	19,433	101%
2 使用料及び 手数料	2 手数料	690	611	△79	89%
4 国庫支出金	1 補助金	56,370	14,895	△41,475	皆増
5 県支出金	1 委託金	30,927	31,855	928	103%
6 財産収入	1 財産売払収入	18	13	△5	72%
7 繰入金	1 繰入金	0	0	0	-
8 繰越金	1 繰越金	0	0	0	-
9 諸収入	1 雑入	7,035	6,524	△511	93%
歳入合計		2,121,441	2,099,732	△21,709	99%

(歳出)

(単位・千円)

款・項・目	令和2年度	令和3年度	比 較	前年比 (%)
消防費	2,118,425	2,096,721	△21,704	99%
(1)常備消防費	1,841,580	1,800,648	△40,932	98%
(2)消防施設費	246,348	191,842	△54,506	78%
(3)消防庁舎建設事業費	0	72,613	72,613	皆減
(4)天草空港消防業務受託事業費	30,497	31,618	1,121	104%
予備費	3,000	3,000	0	100%
歳出合計	2,121,425	2,099,721	△21,704	99%

10 基準財政需要額及び常備消防費負担金（当初）

(単位・千円)

区分	消防費基準財政需要額			常備消防費負担金		
	令和2年度採用 (令和元年度)	令和3年度採用 (令和2年度)	比較	令和2年度	令和3年度	比較
天草市	1,639,446	1,641,966	2,520	1,415,563	1,428,451	12,888
	旧本渡市	527,946	526,669	△ 1,277	460,382	462,615
	旧牛深市	262,830	262,681	△ 149	229,194	230,718
	有明町	125,201	125,647	446	109,178	110,319
	御所浦町	78,953	79,467	514	68,849	69,805
	倉岳町	77,383	77,890	507	67,479	68,397
	栖本町	64,541	64,993	452	42,211	43,320
	新和町	93,513	94,172	659	81,545	82,703
	五和町	172,952	172,614	△ 338	150,818	151,639
	天草町	103,857	104,806	949	90,565	92,075
	河浦町	132,270	133,027	757	115,342	116,860
上天草市	539,755	538,738	△ 1,017	470,680	473,206	2,526
	大矢野町	-	-	-	-	-
	松島町	-	-	-	-	-
	姫戸町	-	-	-	-	-
天草郡苓北町	160,728	161,406	678	140,158	144,177	4,019
	合計	2,339,929	2,342,110	2,181	2,026,401	2,045,834
						19,433

※ 基準財政需要額は前年度額を基準とするため前年度の額を記載

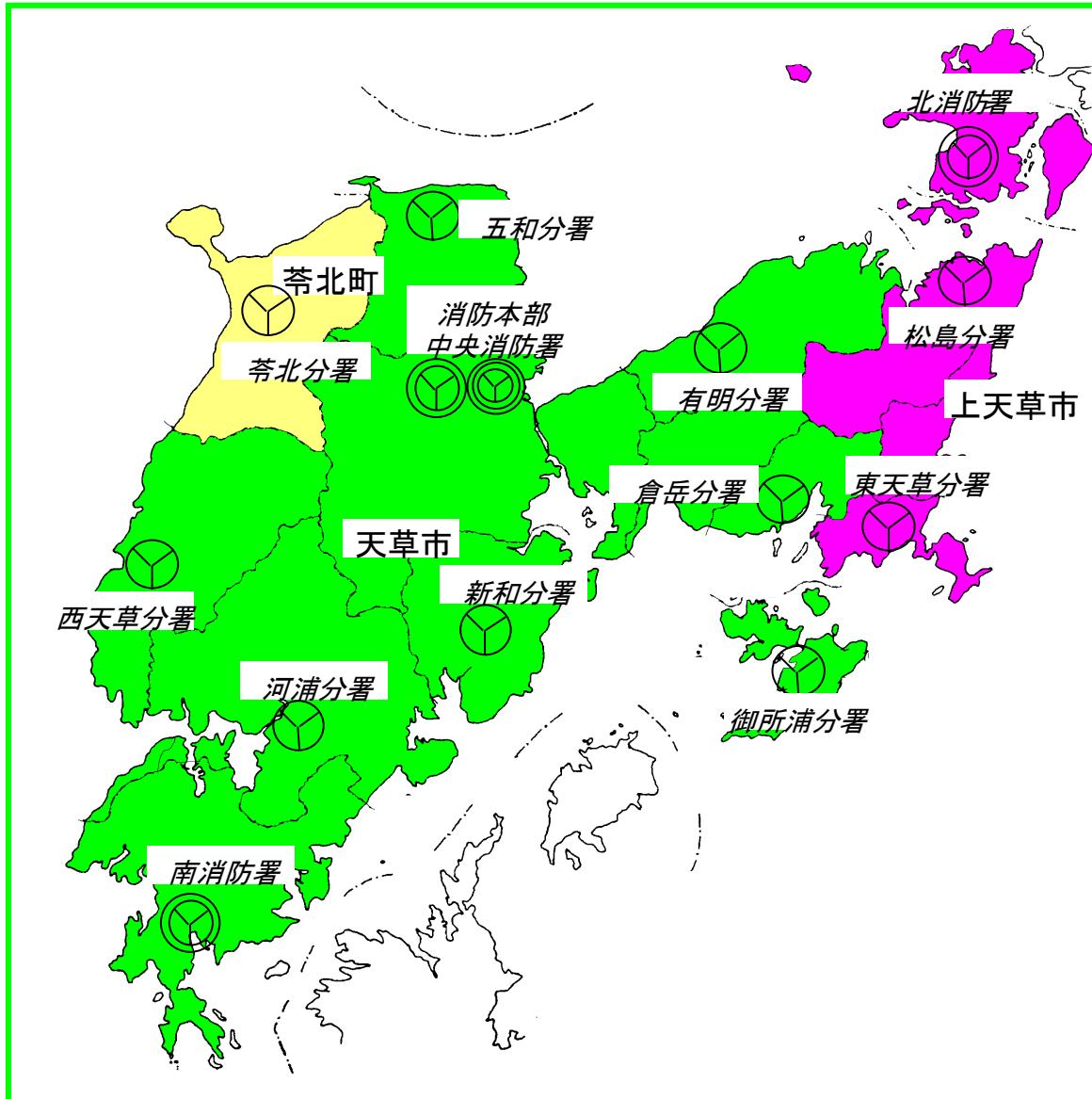
※ 常備消防負担金には、天草空港消防業務受託事業費負担金・庁舎建設事業費は含まない。

※ 上天草市は令和元年度から一本算定となったため各町の金額は未記載。

消防施設と現有勢力

1 天草広域連合消防本部・署・分署配置図

令和3年4月1日現在



凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署

2 消防庁舎の状況

令和3年4月1日現在

区分	所在地	庁舎構造	延べ面積 (m ²)
本部・中央消防署	天草市本渡町広瀬1687番地2	RC一部S造3階建	3,857.24
中央消防署	有明分署	S造平屋	229.00
	御所浦分署	RC造2階建	214.00
	倉岳分署	S造一部2階建	233.33
	新和分署	S造平屋	207.20
	五和分署	S造平屋	257.20
	苓北分署	RC造平屋	512.25
北消防署	北消防署	S造平屋	687.92
	松島分署	S造平屋	239.40
	東天草分署	S造一部2階建	319.85
南消防署	南消防署	S造平屋	696.55
	西天草分署	S造平屋	231.96
	河浦分署	S造平屋	239.50
合計	1本部3署10分署		

3 市町別消防水利状況

令和3年4月1日現在

区分	天草市	上天草市	苓北町	合計
公設消火栓（基準適合のみ）	950	262	15	1,227
公設防火水槽（基準適合のみ）	908	287	113	1,308
指定水利		2		2
その他の水利	51	12	17	80
公設耐震性貯水槽	9	2		11
公設耐震性貯水槽（飲料水兼用）				

4 現有消防力の状況

令和3年4月1日現在

区分	ポンプ車	小型ポンプ積載車	水槽付ポンプ車	化学生	救助工作車	救急車		はしご車	水槽車	指揮車	拠点機能形成車	資機材搬送車	査察・広報・連絡車	その他車両	消防救急艇	合計
						高規格	普通									
消防本部														4	4	8
中央消防署	1		1(1)	1	1	3(1)		1	1	1	1					12(2)
有明分署		1					1									2
御所浦分署		1						1							1	3
倉岳分署		1					1									2
新和分署		1					1									2
五和分署		1					1							1		3
芥北分署				1		1						1	1			4
北消防署			1		1	1				1				1		5
松島分署			1			1							1			3
東天草分署			1			1							1			3
南消防署	1		1			2(1)		1		1						6(1)
西天草分署			1			1							1			3
河浦分署			1			1							1			3
合計	2	5	7(1)	2	2	15(2)	1	2	1	3	1	2	9	6	1	59(3)

()書きは内数非常用車両

※ 中央消防署ポンプ車～小型水槽付CD-1

※ 消防本部その他の車両～指令車・防災指導車・防災研修車・災害対応支援車
北消防署その他の車両～トレーラー

5 消防団の現勢

令和3年4月1日現在

区分	分団数	消防団員		ポンプ車	積載車	小型ポンプ
		定員	実員			
天草市消防団	53		2,740	3	191	191
			(女性 36)			
			(本部 14)			
			(女性 11)			
		3,200	509	2	33	33
			510		37	37
			225		19	19
			187 (女性 25)		11	11
			159		11	11
			156	1	12	12
上天草市消防団	21	1,050	172		11	11
			335		24	24
			176		13	13
			297		20	20
			981 (女性 9)	0	59	60
			392		29	30
大矢野町	8	1,050	247		12	12
			112		6	6
			164		12	12
			66			
			275 (女性 7)		17	17
			3,996 (女性 52)	3	267	268
合 計		4,580				

小型ポンプは積載車の小型ポンプを含む

6 勤続年数別職員数

令和3年4月1日現在

区分	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計
合計	1	1	7	40	40	35	32	59	215
平均(年)	42.0	42.0	37.3	29.1	21.9	12.5	9.7	4.8	15.9
0 ~ 1								10	10
1 ~ 2								5	5
2 ~ 3								2	2
3 ~ 4								7	7
4 ~ 5								7	7
5 ~ 6							1	9	10
6 ~ 7								12	12
7 ~ 8							8	7	15
8 ~ 9						3	6		9
9 ~ 10						4	8		12
10 ~ 11						5	5		10
11 ~ 12					1	7	3		11
12 ~ 13						7			7
13 ~ 14					1	4	1		6
14 ~ 15					3				3
15 ~ 16					4	4			8
16 ~ 17									
17 ~ 18									
18 ~ 19				1	4				5
19 ~ 20				1	6	1			8
20 ~ 21									
21 ~ 22				1	3				4
22 ~ 23									
23 ~ 24				1	3				4
24 ~ 25									
25 ~ 26					2				2
26 ~ 27				14	10				24
27 ~ 28				4	1				5
28 ~ 29				3	2				5
29 ~ 30									
30 ~ 31				4					4
31 ~ 32				4					4
32 ~ 33									
33 ~ 34			2	5					7
34 ~ 35									
35 ~ 36									
36 ~ 37			1	1					2
37 ~ 38									
38 ~ 39				4					4
39 ~ 40									
40 ~ 41									
41 ~ 42	1	1		1					3

※再任用短時間勤務職員を除く

7 年齢別職員数

令和3年4月1日現在

区分	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合計
18									
19								5	5
20								5	5
21								4	4
22								5	5
23								4	4
24								8	8
25							2	8	10
26							2	8	10
27							5	6	11
28						2	2	3	7
29						4	10	2	16
30						6	3	1	10
31						2	4		6
32						6	2		8
33						2	1		3
34					1	6	1		8
35					2	4			6
36					3	1			4
37					4	1			5
38					2				2
39					2				2
40					1				1
41				1	6	1			8
42				2	2				4
43									
44					6	4			10
45					4	2			6
46					7	8			15
47					2				2
48					3	1			4
49					6	2			8
50					1				1
51				1	4				5
52				1					1
53					1				1
54				1	1				2
55					1				1
56					4				4
57									
58									
59	1	1			1				3
60									
合計	1	1	7	40	40	35	32	59	215
平均(年齢)	59.0	59.0	54.4	47.5	41.6	32.3	29.0	24.0	35.0

※再任用短時間勤務職員を除く

8 職員の特殊技能

令和3年4月1日現在

区分	人数	区分	人数
自動車等運転免許	大型運転免許	173	玉掛け技能者
	中型運転免許	16	小型移動式クレーン運転技能者
	中型運転免許 (限定)	1	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者
	準中型運転免許	9	危険物取扱者
	普通運転免許	14	毒劇物取扱者
	自動二輪運転免許	78	衛生管理者
	大型特殊運転免許	22	電気工事士
	普通2種運転免許	14	ガス溶接士
船舶免許	1級小型船舶操縦士	7	消防設備士
	2級小型船舶操縦士	111	防災士
	特殊小型船舶操縦士	32	第1級陸上特殊無線技士
救急関係資格	救急救命士	86	第2級陸上特殊無線技士
	救急隊資格者 (標準・Ⅱ課程)	104	第3級陸上特殊無線技士
	救急隊資格者 (Ⅰ課程)	0	予防技術資格
	応急手当指導員資格者	190	
潜水士		193	防火査察
ドローン操縦士		20	消防用設備等
			危険物
※再任用短時間勤務職員を除く			

9 消防音楽隊

消防音楽隊は、昭和54年10月1日に発足以来、消防式典をはじめ各種行事に参加し、音楽を通じて住民の防火意識の高揚を図るなど広報活動の推進に努めています。

(1) 隊員構成

令和3年4月1日現在

区分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
隊長	1					1
副隊長	1					1
楽長			1			1
副楽長		2				2
隊員	4	7	5	8	4	28
合計	6	9	6	8	4	33

(2) 楽器構成

令和3年4月1日現在

区分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
フルート		1		1		2
ピッコロ						
クラリネット		3	1	2		6
バスクラリネット			1			1
アルトサックス	1	1		1		3
テナーサックス		1			1	2
ホルン	1			1		2
ユーフォニーム				1	1	2
トロンボーン	1	1			1	3
トランペット	2		2	1	1	6
チューバ		1	1			2
パーカッション	1	1	1	1		4
合計	6	9	6	8	4	33

(3) 年齢構成

令和3年4月1日現在

年 齢	5 0 歳代	4 0 歳代	3 0 歳代	2 0 歳代	合 計
人 数		9	14	10	33

10 演奏活動出場状況

平成27年度～令和2年度

区 分		2 7 年度	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	元 年度	2 年 度
出 場 数	部内関係		1				
	市町関係	3	3	2	2	2	
	その他	1	4	1	3	4	
	合 計	4	8	3	5	6	

11 月別演奏活動状況

令和2年度

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出 場 数	部内関係													
	市町関係													
	その他													
	合 計													

令和2年度演奏活動状況

※新型コロナウイルス感染症対策により各種行事が中止

12 職員研修等実施状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

実施機関	研修科目	期間	人員
全国消防長会 九州支部	消防長研修会 九州地区警防実務研修 九州地区予防実務研修 大規模災害対応実務研修会 予防事務担当者研修会 消防財務実務研修会 消防実務講習会 違反是正事例発表会	中止 中止 中止 中止 中止 中止 中止 中止	
消防大学校	危険物科 自主防災組織育成短期コース 高度救助・特別高度救助コース	6月22日～ 7月23日 11月25日～ 11月28日 2月28日～ 3月13日	1人 1人 1人
熊本県消防学校	初任科 初級幹部科 救助科 予防査察科 危険物科 救急科 警防隊員研修 指導員研修科 特殊災害科	4月 7日～ 9月18日 10月 5日～10月16日 10月19日～11月17日 11月19日～12月 3日 12月14日～ 12月18日 1月 7日～ 3月 3日 3月 8日～ 3月12日 中止 中止	5人 2人 3人 2人 2人 4人 2人
職員研修	職員研修（署担当） 職員研修（司令補以上）	7月～2月 1月27日～ 28日	延 273人 84人
その他	救急救命東京研修所 指導救命士養成研修 救急救命九州研修所 酸素欠乏・硫化水素危険作業技能講習 安全運転実技研修 ドローン運用アドバイザー育成研修 消防実務講習会・救急緊急自動車運転技能者課程 地方公共団体の危機管理に関する研修会 調査技術会議 天草消防連絡協議会視察研修 音楽隊演奏技術研修会 気管挿管病院実習	4月 2日～10月 3日 6月24日～ 8月 7日 9月 2日～ 3月16日 10月20日～10月22日 11月 9日～11月11日 10月28日～10月29日 11月16日～11月20日 11月16日～11月21日 11月 9日～11月10日 2月18日～ 2月19日 中止 中止 中止	1人 1人 1人 2人 2人 3人 1人 1人 4人 2人

1.3 消防相互応援協定の状況

令和3年4月1日現在

協定の名称	協定市町村等	応援の内容	締結年月日
熊本県消防相互応援協定	熊本県内 全市町村 消防機関	火災、その他の災害	平成27年4月1日
消防相互応援協定	鹿児島県 阿久根地区 消防組合 消防本部	救急業務	昭和56年11月1日
天草空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	天草空港	消火救難活動	平成12年3月14日

14 消防救助技術大会出場結果

区分	県大会		九州大会		全国大会	
	出場人員	入賞数	出場人員	入賞数	出場人員	入賞数
平成元年 陸上	89	74	38	28	1	1
水上	20	14				
2年 陸上	77	63	29	28	8	8
水上	21	15				
3年 陸上	85	74	33	33	5	5
水上	19	16				
4年 陸上	88	60	28	28	5	5
水上	16	16	6	6	1	1
5年 陸上	87	65	36	23	1	1
水上	20	12	6	6	1	1
6年 陸上	79	60	26	26	5	5
水上	16	12	2	2	1	1
7年 陸上	76	69	27	23		
水上	18	17	6	2	1	1
8年 陸上	85	70	37	大会中止		2
水上	28	25	7	大会中止		1
9年 陸上	85	71	32	26	1	1
水上	18	7	1	1	1	1
10年 陸上	63	35	20	20	6	6
水上	26	23	5	5	5	5
11年 陸上	49	46	22	22	5	5
水上	22	15	4	4		
12年 陸上	69	43	36	36	15	15
水上	14	14	5	5	5	5
13年 陸上	69	56	39	36	16	16
水上	15	12	4	4	4	4
14年 陸上	74	64	33	21	4	4
水上	23	23	5	5	4	4
15年 陸上	66	53	32	16		
水上	18	17	3	3	7	7
16年 陸上	67	48	27	13		
水上	12	12	3			
17年 陸上	41	32	21	16	1	1
水上	12	12	3	3		
18年 陸上	53	42	9	9	9	9
水上	12	9	3	3	3	3
19年 陸上	54	38	23	9	9	9
水上	19	15	8	8	3	3
20年 陸上	44	38	14			
水上	21	20	4	4	4	1
21年 陸上	45	27	24	9	9	4
水上	13	9	—	—		
22年 陸上	48	13	10	1	5	1
水上	20	6	—	—		
23年 陸上	大会中止		大会中止		大会中止	
水上						
24年 陸上	45	16	14	1		
水上	18	11	—	—	3	
25年 陸上	48	42	15	10	8	8
水上	25	21				
26年 陸上	56	52	9	4	6	大会中止
水上	24	21	—	—		
27年 陸上	56	36	14		1	
水上	21	18	—			
28年 陸上	大会中止		大会中止		5	1
水上						
29年 陸上	51	36	10	5	5	
水上	18	17			3	
30年 陸上	51	27	10	5	5	大会中止
水上	18	13				
令和元年 陸上	51	41	19	10		
水上	28	15				
令和2年 陸上	大会中止		大会中止		大会延期	
水上						

※平成21年度から水上は九州大会なし

予 防 行 政

1 防火対象物の現況

令和3年3月31日現在

区分		用途別	敷地単位 対象物数	棟数	防火管理者 を必要とする 防火対象物	防火管理者 選任届出数
消防法施行令別表第一による防火対象物	1項	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	4	2	2
		ロ 公会堂又は集会場	32	36	32	32
	2項	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの				
		ロ 遊技場又はダンスホール	12	12	11	11
		ハ 風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの				
		ニ カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	4	6	3	3
	3項	イ 待合、料理店その他これらに類するもの	4	4	4	4
		ロ 飲食店	106	119	47	43
	4項	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	137	149	123	121
	5項	イ 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	131	257	87	84
		ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	222	311	25	23
	6項	イ 病院、診療所又は助産所	74	110	43	43
		ロ 社会福祉施設等（要介護）	54	84	54	53
		ハ 上記以外の社会福祉施設等	147	194	98	96
		ニ 幼稚園又は特別支援学校	7	13	7	7
	7項	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	64	186	60	60
	8項	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	14	18	12	12
	9項	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	1	2	1	1
		ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4	12	4	4
	10項	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3	3	1	1
	11項	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	37	39	21	21
	12項	イ 工場又は作業場	182	344	7	6
		ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ				
	13項	イ 自動車車庫又は駐車場	3	24		
		ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
	14項	倉庫	75	164		
	15項	前各項に該当しない事業場	361	546	234	233
	16項	イ 複合用途防火対象物のうち、その一部が1項から4項まで、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	256	228	177	173
		ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	111	93	18	17
	16の2	地下街				
	16の3	建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの				
	17項	文化財保護法によって指定、認定された建造物				
	18項	延長50メートル以上のアーケード	1	1		
	19項	市町村長の指定する山林				
	20項	自治省令で定める舟車				
合			計	2,044	2,959	1,071
						1,050

棟数については、消防法第17条の設置基準により区分

2 消防法及び火災予防条例等に基づく諸届出受理件数

令和2年4月1日～令和3年3月31日

届出区分	受理件数
防火対象物定期点検結果報告書	35
防火対象物定期点検報告特例認定申請書	11
工事整備対象設備等着工届出書	72
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書	288
消防計画作成（変更）届出書	286
防火管理者選任（解任）届出書	204
圧縮アセチレンガス等貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出書	21
危険物保安監督者選任・解任届出書	25
予防規程制定・変更認可申請書	45
裸火等使用承認申請書	0
指定水利変更・廃止・使用不能届出書	4
防火対象物使用開始届出書	73
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書	16
燃料電池発電設備・発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出書	59
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書	355
煙火消費届出書	62
催物開催届出書	1
水道断・減水届出書	5
道路工事届出書	577
露店等の開設届出書	16
少量危険物・指定可燃物貯蔵、取扱い届出書	124
少量危険物・指定可燃物貯蔵、取扱い廃止届出書	33
タンク水張（水圧）検査申出書	0
合 計	2,312

3 甲種防火管理新規講習会実施状況

年 度	講習月	受講者数	年 度	講習月	受講者数
平成3年度	6月	180	18年度	8月	143
4年度	5月	173	19年度	5月・11月	236
5年度	5月	175	20年度	8月	121
6年度	5月	173	21年度	8月	126
7年度	5月	185	22年度	8月・2月	150
8年度	5月	189	23年度	8月	112
9年度	5月	183	24年度	8月	88
10年度	5月	163	25年度	8月	120
11年度	5月	122	26年度	8月	102
12年度	5月	136	27年度	8月	111
13年度	5月	115	28年度	6月・8月	125
14年度	5月	121	29年度	6月・8月	115
15年度	5月	124	30年度	6月・8月	118
16年度	8月	169	令和元年度	6月・9月	120
17年度	8月	156	2年度	9月・11月・12月	79

※ 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催した。

4 甲種防火管理再講習会実施状況

年 度	講習月	受講者数	年 度	講習月	受講者数
平成25年度	5月	12	29年度	5月	21
26年度	5月	16	30年度	5月	19
27年度	5月	10	令和元年度	5月	13
28年度	5月	24	2年度	5月	11

5 火薬類消費許可申請及び許可状況

年 度	申請件数	許可件数	年 度	申請件数	許可件数
平成25年度	12	12	29年度	23	23
26年度	12	12	30年度	24	24
27年度	11	11	令和元年度	26	26
28年度	13	13	2年度	4	4

※平成29年度から小型煙火の許可を含む。

6 中高層建築物現況数

令和3年3月31日現在

区分	一項 口	二項 二	三項		四項	五項		六項			七項	十五項	十六項		その他	合計
			イ	口		イ	口	イ	口	ハ			イ	口		
4階	1	1	1		4	6	68	7	4		5	16	16	7	2	138
5階				1	1	7	14	4	2		1	2	6	5		43
6階						5	2	2			1	1	2	2	1	17
7階以上						4	2	1					1	1		9
合計	1	1	1	1	5	22	86	14	6	1	7	21	25	13	3	207
天草市	1	1		1	5	8	74	11	4	1	4	16	22	9	1	158
日本渡市		1		1	5	6	41	9	1		3	11	20	8	1	107
旧牛深市	1					1	31	1	1		1	5	1	1		43
有明町														1		1
御所浦町																
倉岳町																
栖本町																
新和町							1									1
五和町								1	2	1						4
天草町						1	1									2
河浦町																
上天草市						13	5	2	1		2	1	2	4	2	32
大矢野町						7	4	1			2		2	1		17
松島町						5	1							1	1	8
姫戸町																
龍ヶ岳町						1		1	1			1		2	1	7
天草郡 苓北町			1			1	7	1	1		1	4	1			17
合計	1	1	1	1	5	22	86	14	6	1	7	21	25	13	3	207

7 防火対象物定期点検報告等の状況

令和3年3月31日現在

区分		該当防火対象物		点検報告済防火対象物		特例認定済防火対象物	
		収容人員が300人以上のもの	特定一階段等防火対象物	収容人員が300人以上のもの	特定一階段等防火対象物	収容人員が300人以上のもの	特定一階段等防火対象物
1項	イ	2				2	
	ロ	13		2		11	
2項	イ						
	ロ	11		2		9	
	ハ						
	ニ	1				1	
3項	イ						
	ロ		1		1		
4項		31		18		12	
5項	イ	9	4	2	1	5	1
6項	イ	6				6	
	ロ	1		1			
	ハ						
	ニ						
9項	イ	1				1	
16項	イ	15	2	3	1	12	
合計		90	7	28	3	59	1

8 月別・市町別建築同意事務処理状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

市町名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
天草市	5	6	5	4	2	3	2	3	4	4	1	7	46
旧本渡市	5	5	4	4	2	3	1	3	3	4	1	7	42
旧牛深市			1					1					2
有明町													
御所浦町			1										1
倉岳町													
栖本町													
新和町													
五和町										1			1
天草町													
河浦町													
上天草市			1				1		1		1	2	6
大矢野町									1			1	2
松島町			1				1				1	1	4
龍ヶ岳町													
姫戸町													
天草郡苓北町					1			1		1		1	4
合計	5	7	5	5	2	4	3	4	5	5	3	8	56

9 危険物製造所等の現況

令和3年3月31日現在

区分		5倍以下	5~10	10~50	50~100	100~200	200倍超	合計
製造所					1			1
貯蔵所	屋内貯蔵所	19	11	6		1		37
	屋外タンク貯蔵所	17	16	48	7	4	5	97
	屋内タンク貯蔵所	2	1	2				5
	地下タンク貯蔵所	30	13	14		1		58
	簡易タンク貯蔵所	2						2
	移動タンク貯蔵所	41		1				42
	屋外貯蔵所	9	4	2				15
小計		120	45	73	7	6	5	256
取扱所	給油取扱所	26	16	35	32	33	15	157
	一般取扱所	17	14	14			1	46
	販売取扱所	1種	1	1	1			3
		2種						
	移送取扱所							
小計		44	31	50	32	33	16	206
合計		164	76	123	40	39	21	463

10 危険物規制事務取扱状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

区分		設置許可	変更許可	水圧水張検査	完成検査	仮使用承認	種類数量変更届	譲渡引渡	廃止届
製造所									
屋内貯蔵所									
屋外タンク貯蔵所			2		2		2		5
屋内タンク貯蔵所									
地下タンク貯蔵所					1				1
簡易タンク貯蔵所									
移動タンク貯蔵所			1		3				1
屋外貯蔵所									
給油取扱所			14		14	11			3
一般取扱所			1				2		
販売取扱所	1種								
	2種								
移送取扱所									
合計			18		20	11	4		10

1.1 幼少年女性防火クラブの結成状況

(1) 幼年消防クラブ

令和3年3月31日現在

市町名	クラブ名称	結成年月日	結成単位
旧本渡市	本渡ふたば保育園幼年消防クラブ	昭和59年 9月 1日	園
	桜宇土保育園幼年消防クラブ	昭和59年 9月 1日	"
	天領保育園幼年消防クラブ	令和 5年 6月10日	"
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成 5年 3月11日	"
	めぐみ保育園幼年消防クラブ	平成 5年 5月 7日	"
	東向寺保育園幼年消防クラブ	平成 7年 5月19日	"
	えんけいじ幼年消防クラブ	平成16年 7月10日	"
	ひがしまち保育園幼年消防クラブ	平成17年 7月28日	"
	おおやざきオレンジ幼年消防クラブ	平成17年 9月12日	"
天草市	観音ちびっこ消防クラブ	平成10年 6月11日	"
	愛隣幼稚園幼年消防クラブ	平成 9年 7月14日	"
有明町	浦和保育園幼年消防クラブ	平成27年 5月13日	"
	有明東保育園幼年消防クラブ	平成30年 1月 1日	"
	島子保育園幼年消防クラブ	平成30年 1月 1日	"
御所浦町	御所浦チビッコ消防クラブ	平成 9年 7月16日	町
倉岳町	苓陽幼稚園幼年消防クラブ	平成 7年 4月19日	園
	倉岳保育園幼年消防クラブ	平成11年11月11日	"
新和町	ひだまりの里幼年消防クラブ	平成11年 6月 4日	"
五和町	手野保育園たけのこ幼年消防クラブ	平成 9年 7月 1日	"
天草町	しらさぎ保育園幼年消防クラブ	昭和62年 9月 1日	"
	もみじ保育園幼年消防クラブ	昭和62年 9月 1日	"
河浦町	一町田保育園ちびっこ消防クラブ	平成 9年 2月25日	"

市町名	クラブ名称	結成年月日	結成単位
上天草市	大矢野町 あそか保育園幼年消防クラブ	平成16年 7月 3日	園
	松島町 愛光園幼年消防クラブ	昭和63年 6月10日	"
	教良木保育園幼年消防クラブ	平成 9年 7月 1日	"
	今泉保育園ほとけの子消防隊	平成 9年 7月 1日	"
	松島保育園幼年消防クラブ	平成10年 4月 1日	"
	龍ヶ岳町 龍ヶ岳保育園幼年消防クラブ	平成31年 4月 1日	"
姫戸町	姫戸ひかり保育園幼年消防クラブ	平成22年 4月 1日	"
天草郡北町	宮原保育園幼年消防クラブ	平成 2年11月 1日	"
	坂瀬川保育園幼年消防クラブ	平成 2年11月 1日	"
	志岐保育園幼年消防クラブ	平成 2年11月 1日	"
	国照寺保育園幼年消防クラブ	平成 2年11月 1日	"
	富岡保育園幼年消防クラブ	平成 2年11月 1日	"
	都呂々保育園幼年消防クラブ	平成 2年11月 1日	"
合計	35 団体		

(2) 少年消防クラブ

令和3年3月31日現在

市町名	クラブ名称	結成年月日	結成単位
天草市	旧牛深市 牛深少年消防クラブ	昭和56年 3月10日	学校
	牛深東少年消防クラブ	昭和56年 3月10日	"
	御所浦町 御所浦小学校少年消防クラブ	平成17年 5月19日	"
	新和町 新和小学校少年消防クラブ	平成13年 6月 7日	"
	天草町 天草小学校少年消防クラブ	平成25年 6月20日	"
河浦町	河浦小学校少年消防クラブ	平成25年 4月 1日	"
上天草市	大矢野町 登立小学校少年消防クラブ	昭和58年 7月 4日	"
		平成元年 7月 8日	"
		平成元年 7月 8日	"
		平成元年 7月 8日	"
		平成 2年 6月29日	"
	松島町 今津少年消防クラブ	昭和54年 5月 1日	"
		昭和55年11月 1日	"
	姫戸町 姫戸小学校少年消防クラブ	平成22年 7月 1日	"
	龍ヶ岳町 龍ヶ岳小学校少年消防クラブ	平成23年 5月27日	"
合 計		15 団体	

(3) 女性防火クラブ

令和3年3月31日現在

市町名	クラブ名称	結成年月日	結成単位
天草市	日本渡市 宮口区婦人防火クラブ	平成 6年12月 5日	区
	倉岳 レインボー防火クラブ	平成10年 7月 6日	"
	宮田えびす防火クラブ	平成10年 7月 6日	"
合 計	3 団体		

12 自主防災組織結成状況(民間自主防災)

令和3年3月31日現在

市町名	名称	結成年月日	単位
天草市	新規結成		
	日本渡市 大門口区自主防災会	令和 2年 4月 1日	地区
	河浦町 倉田地区自主防災会	令和 2年 4月 1日	"
	河浦町 下田地区自主防災会	令和 2年 4月 1日	"
	葛河内地区自主防災会	令和 2年 4月 1日	"
	板之河内地区自主防災会	令和 2年 4月 1日	"
	小計 209 組織		
上天草市	小計 123 組織		
苓北町	小計 38 組織		
合 計	370 組織		

消 防 通 信

1 月別119番着信状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	火災	救急	災害他	間違い	いたずら	問合せ	通報訓練	回線試験	転送	その他	合計
1月	1	528	14	26	0	21	56	51	5	40	742
2月	5	423	8	20	0	9	105	43	2	31	646
3月	8	416	6	26	2	19	174	83	1	25	760
4月	6	390	17	21	1	30	32	51	4	31	583
5月	3	379	17	29	0	24	60	46	6	27	591
6月	6	347	10	28	2	26	95	57	1	40	612
7月	0	399	30	39	1	26	76	62	7	71	711
8月	3	489	8	40	0	21	60	40	3	53	717
9月	5	452	18	33	0	20	82	62	8	25	705
10月	10	421	18	22	0	24	105	65	8	35	708
11月	6	440	10	18	0	14	152	57	3	25	725
12月	11	551	15	28	1	22	119	63	4	32	846
合計	64	5,235	171	330	7	256	1,116	680	52	435	8,346

(同報含む)

2 市町別災害出動覚知方法

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	119			加入電話	駆け付け	Qネット通報	有線電話	その他	合計
	加入電話	携帯	I P						
天草市	1,761	1,277	375	234	53	39	0	209	3,948
旧本渡市	545	619	282	70	2	16		5	1,539
旧牛深市	292	161	92	33	2	4		5	589
有明町	124	80		27	11	3		4	249
御所浦町	107	57		41	14	3		185	407
倉岳町	91	47		8	5			1	152
栖本町	60	39				4			103
新和町	106	38		10	1	1		2	158
五和町	183	104	1	21	5	4		3	321
天草町	100	59		17	10	1		1	188
河浦町	153	73		7	3	3		3	242
上天草市	654	482	219	84	22	25	0	28	1,514
大矢野町	285	273	123	57	7	12		13	770
松島町	145	127	95	14	13	8		3	405
姫戸町	71	38		3		3		4	119
龍ヶ岳町	153	44	1	10	2	2		8	220
天草郡苓北町	138	73	32	24	2	4		3	276
合計	2,553	1,832	626	342	77	68	0	240	5,738

(有線電話～河浦町有線放送用緊急電話)

3 聴覚言語障害者に対するシステム

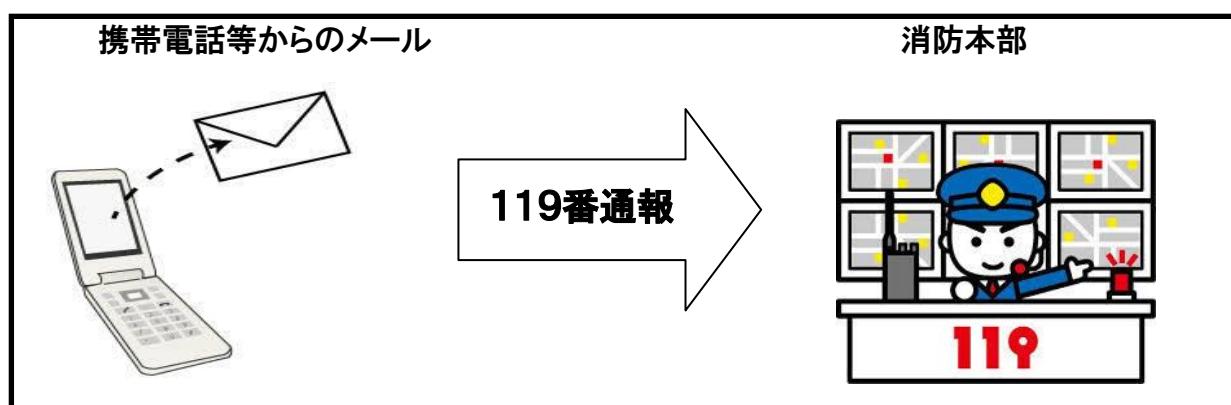
FAX119

「FAX119」とは、自宅等のFAXから通報内容が記入できる専用の用紙を、消防本部の通信指令センターへFAXすることにより、119番通報を行うことができるサービスです。現在の登録者数は15名です。



メール119

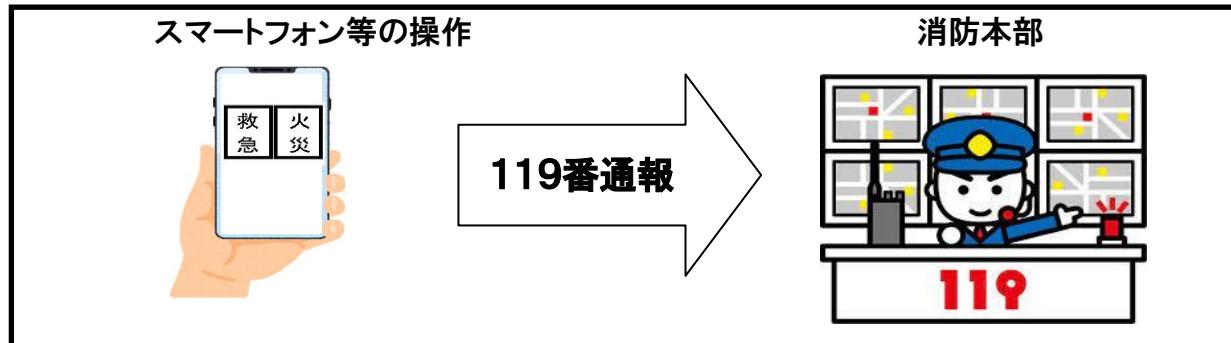
「メール119」とは、携帯電話や自宅パソコンなどのインターネットのできる端末機を利用してメールにより消防本部の指令センターへ119番通報を行うことができるサービスです。現在の登録者数は3名です。



ネット119

「ネット119」とは、スマートフォンやタブレットなどインターネットのできる端末機を操作してあらかじめ登録していた情報を送信することにより、消防本部の指令センターへ119番通報を行うことができるサービスです。

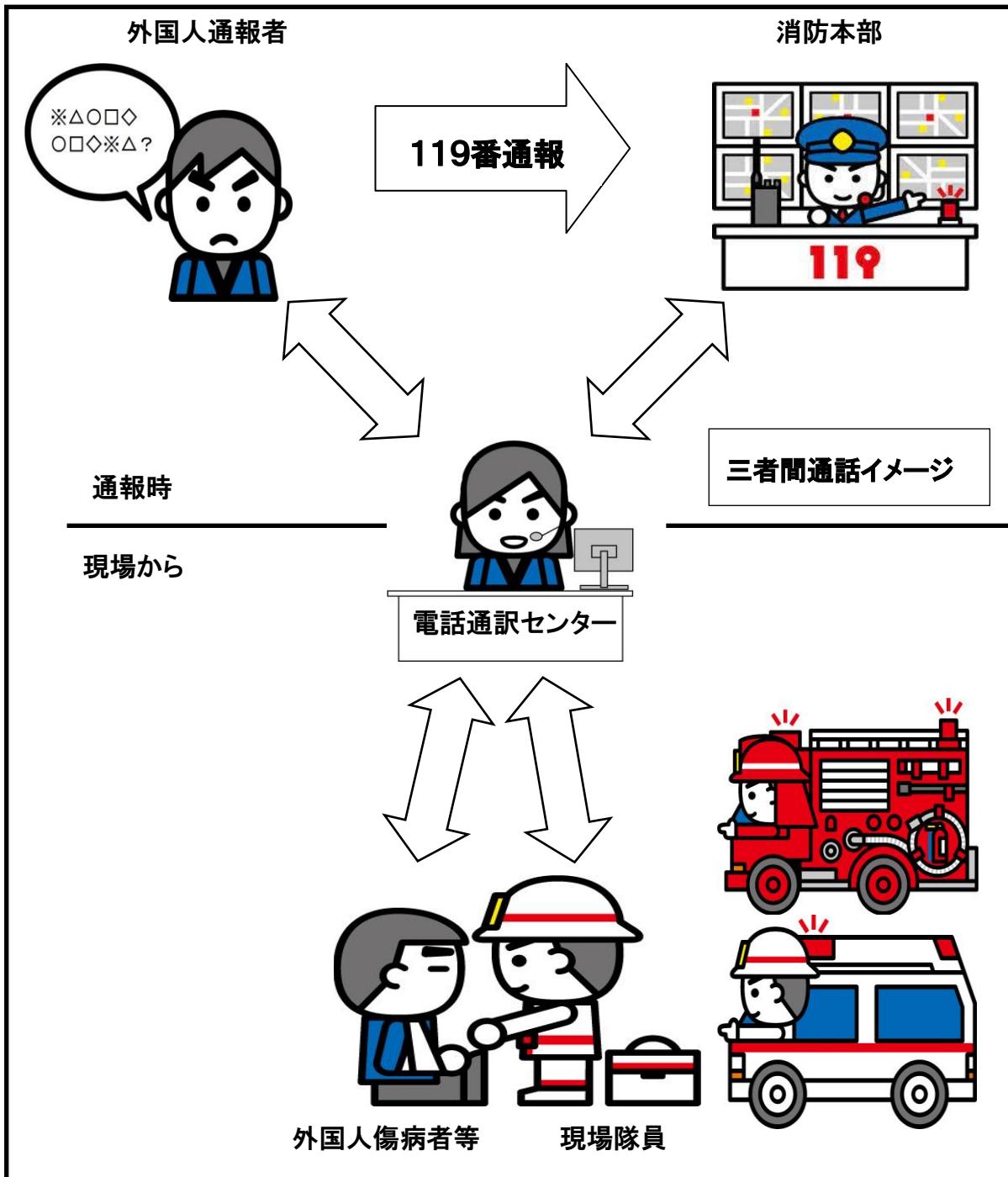
令和3年7月1日から運用開始します。



4 外国人に対するシステム

多言語三者間通訳通話システム

「多言語三者間通訳通話システム」とは、外国人からの119番通報や外国人のいる救急現場での救急活動等において、電話通訳センターを介し対応するサービスです。令和2年5月1日から運用を開始し、19言語に対応しています。



火 災 統 計

1 火災概要

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分		令和2年 (A)	平成31(令和元)年 (B)	増減 (A - B)
出火件数(件)		64	65	△1
火災種別	建物	21	34	△13
	林野	5	3	2
	車両	2	5	△3
	船舶	1	3	△2
	航空機	0	0	0
	その他	35	20	15
焼損棟数(棟)		26	44	△18
焼損程度	全焼	12	18	△6
	半焼	0	0	0
	部分焼	4	9	△5
	ぼや	10	17	△7
建物焼損面積(m ²)		521	2,315	△1,794
林野焼損面積(a)		10.0	8.0	2.0
死者(人) (放火自殺者)		0	1 (0)	△1 (0)
負傷者(人)		9	14	△5
り災世帯(世帯)		10	18	△8
り災状況	全損	3	7	△4
	半損	0	0	0
	小損	7	11	△4
り災人員(人)		22	51	△29
損害額(千円)		15,767	130,346	△114,579
損害種別	建物	14,718	127,598	△112,880
	林野	0	200	△200
	車両	950	1,324	△374
	船舶	1	828	△827
	航空機	0	0	0
	その他	98	396	△298

2 火災種別出火件数の構成比率

令和2年1月1日～令和2年12月31日

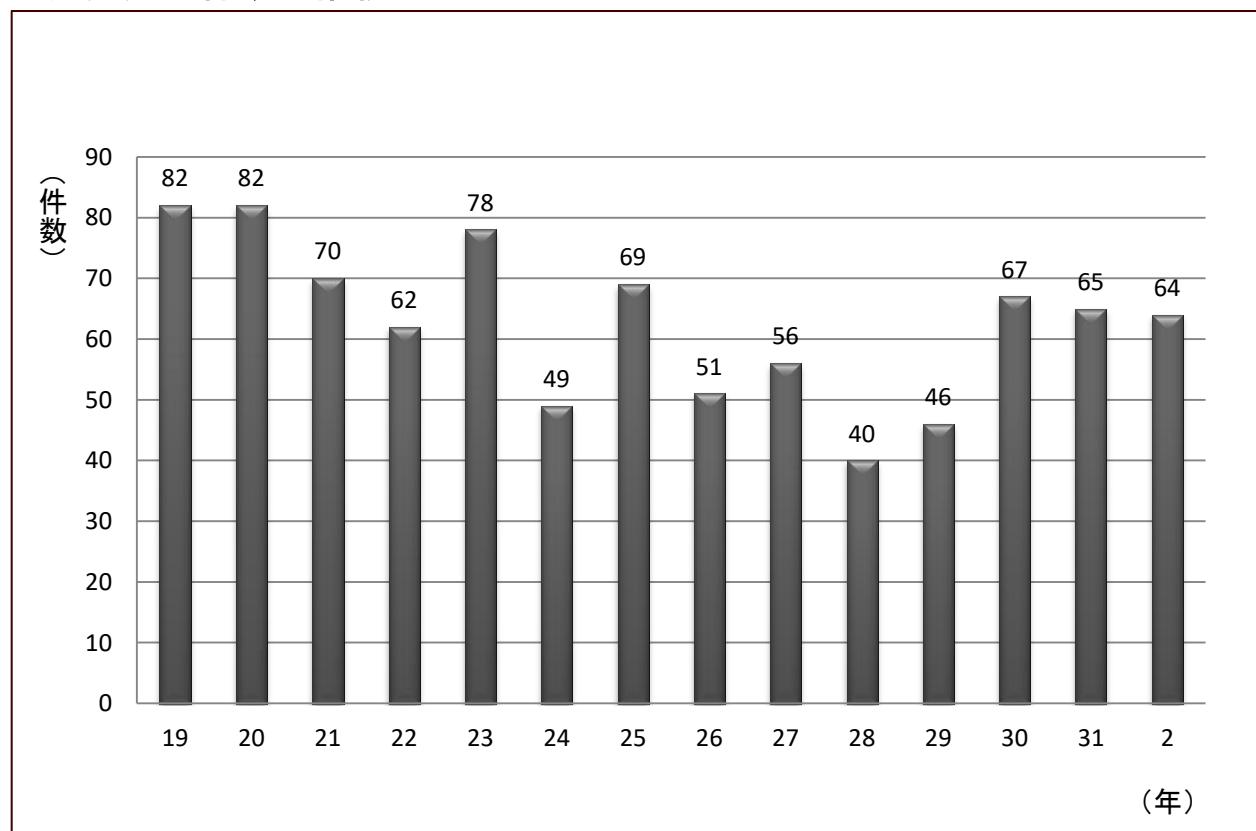
区分	令和2年	平成31(令和元)年
建物火災	33%	52%
林野火災	8%	5%
車両火災	3%	8%
船舶火災	2%	5%
航空機火災	0%	0%
その他火災	55%	31%
合計	100%	100%

3 1日当たり及び1件当たりの火災状況

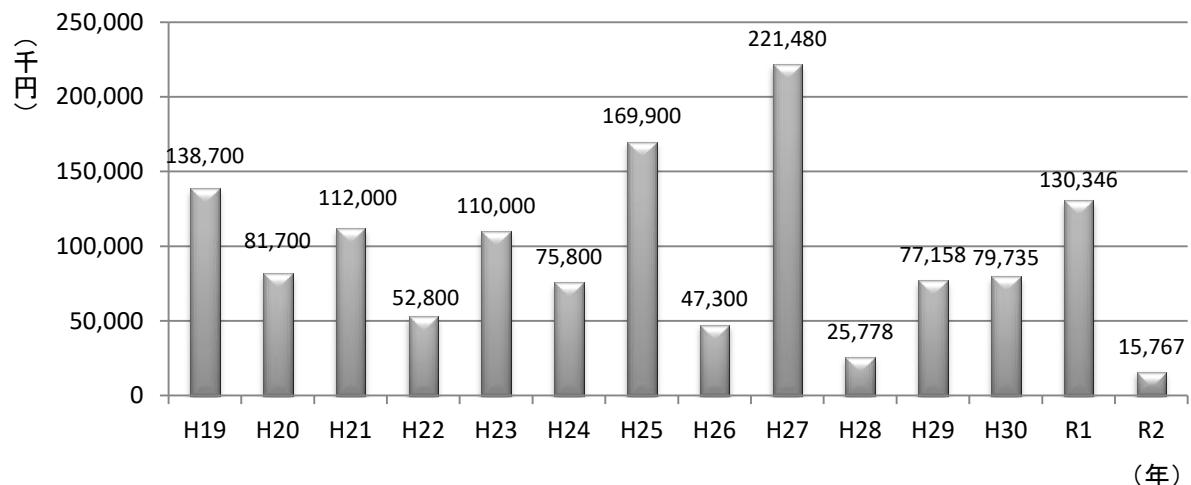
令和2年 1月1日 ~ 令和2年 12月31日

区分		令和2年	平成31（令和元）年
全火災 1日当たり	出火件数（件）	0.18	0.18
	損害額（千円）	43	357
	建物焼損面積（m ² ）	1.43	6.34
全火災 1件当たり	損害額（千円）	246	2,005
建物火災 1件当たり	建物焼損面積（m ² ）	24.8	68.1
	焼損棟数（棟）	1.00	1.00
	罹災世帯数（世帯）	0.48	0.53
	罹災人員（人）	1.05	1.50
林野火災 1件当たり	損害額（千円）	0	67
	林野損害面積（a）	2	3

4 火災発生件数の推移



5 火災損害額の推移



6 令和2年中の主な火災

令和2年1月1日～令和2年12月31日

火災種別	出火日時	出火場所	焼損棟数	焼損面積 (m ² ・a)	罹災世帯数	罹災人員	死者	負傷者	損害額 (千円)	出火原因
※令和2年中は損害額10,000千円以上又は死者が発生した火災の発生なし										

※損害額10,000千円以上又は死者が発生した火災

7 月別火災発生状況

区分	火災件数							焼損面積		損害額(千円)						
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物(m ²)	林野(a)	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1月	1						1			1						1
2月	5	2	1				2		4	29	28					1
3月	8	4					4			138	109					29
4月	6	1	1				4	47	2	1,138	1,122					16
5月	3	1					2	3		123	116					7
6月	6	2					4	10		505	504					1
7月																
8月	3	1					2			10	10					
9月	5	1					4	9		62	40					22
10月	10		1	1	1		7		1	677			675	1		1
11月	6	5					1	424	3	12,694	12,679			15		
12月	11	4	2	1			4	28		390	110		260			20
合計	64	21	5	2	1		35	521	10	15,767	14,718		950	1		98

令和2年1月1日～令和2年12月31日

焼損棟数								り災世帯数				り災人員	死者	負傷者			
合計	火元				類焼				計	全損	半損	小損					
	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや									
															1		
2				1	1												
4					4					1		1	5				
4	1				1		1	1	1	1	1		4	1			
1	1																
2	1			1					2	1		1	3	1			
1				1					1			1	2	1			
1	1														1		
															1		
7	3			2	1		1		4	1		3	6		1		
4	3		1						1			1	2		2		
26	10		2	9	2		2	1	10	3		7	22		9		

8 市町別火災発生状況

区分	火災件数							焼損面積		損害額(千円)			
	合計	建物	船舶	航空機	車両	林野	その他	建物 (m ²)	林野 (a)	合計	建物	林野	車両
天草市	40	12			2	5	21	68	7	2,299	1,310		935
	16	5				2	9	9	2	183	159		
	2	2						55		1,121	1,121		
	2	1					1			1	1		
	1						1						
	2	1					1	4	1	3	2		
	1						1						
	3	1				1	1			22	22		
	8	1			1	1	5			707	3		675
	2				1	1			4	260			260
河浦町	3	1					2			2	2		
	21	7	1				13	440	3	12,848	12,789		15
	11	1	1				9			10	1		
	6	3					3	424	3	12,672	12,655		15
	1						1			14			
天草郡苓北町	3	3						16		152	133		
	3	2					1	13		620	619		
合計	64	21	1		2	5	35	521	10	15,767	14,718		950

令和2年1月1日～令和2年12月31日

船舶	航空機	その他	焼損棟数								り災世帯数				死 者	負傷 者		
			合 計	火元				類焼				計	全 損	半 損	小 損			
				全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や							
		54	15	4		1	7	1		1	1	6	1		5	14	3	
		24	6	1			4				1	1				1	2	1
			4	2				1			1	1	1				4	
			1				1					1				1	2	1
		1	1	1														
			1				1					1			1	1	1	
		29	1			1						1			1	1	2	
			1				1					1			1	1		1
1		43	9	4		1	2	1		1		3	1		2	7	6	
1		8	1					1				1			1	5	3	
		2	5	3					1		1	2	1		1	2	2	
		14																
		19	3	1		1	1											1
		1	2	2								1	1			1		
1		98	26	10		2	9	2		2	1	10	3		7	22	9	

9 出火原因別火発生状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	合計	建 物	林 野	車両	船 舶	航空機	その他
たばこ	2	2					
こんろ	2	1					1
かまど	1						1
風呂かまど	4	4					
炉							
焼却炉	3	1	1				1
ストーブ							
こたつ							
ボイラー	2	1					1
煙突・煙道							
排気管	1			1			
電気機器	1				1		
電気装置							
電灯・電話等の配線	2	2					
内燃機関							
配線器具							
火あそび							
マッチ・ライター	2	1					1
たき火	33	5	4				24
溶接機・切断機							
灯火							
衝突の火花							
取灰							
火入れ							
放火							
放火の疑い							
その他	4	1		1			2
不明・調査中	7	3					4
合 計	64	21	5	2	1		35

救 急 業 務

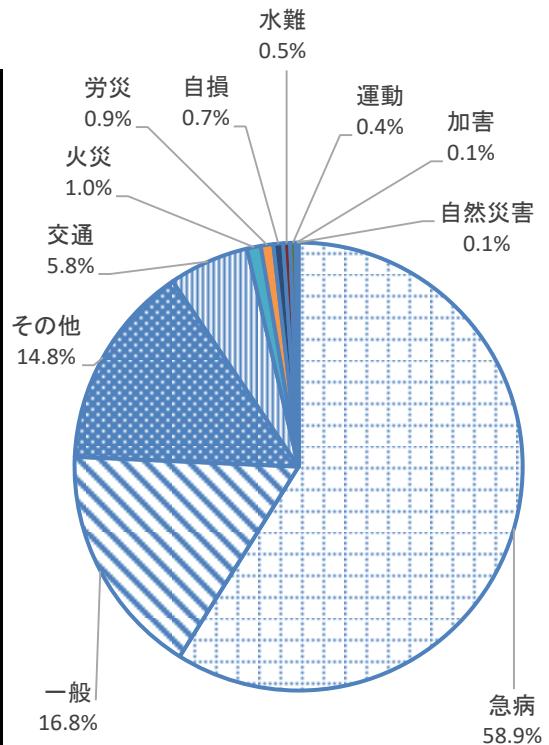
1 救急概要

区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				一 日 平 均	合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 輸 送	その 他		
出場件数	53	3	26	318	50	23	916	3	38	3,200	744	4		57	15	5,435
搬送人員	男	5		13	164	42	14	352		12	1,492	357			7	2,451
	女	2		2	124	5	7	486	3	10	1,399	367		1	7	2,406
	合計	7		15	288	47	21	838	3	22	2,891	724		1	13	4,857
不搬送	46	3	11	60	3	2	79		16	313	21	4		55		613

2 事故種別の順位

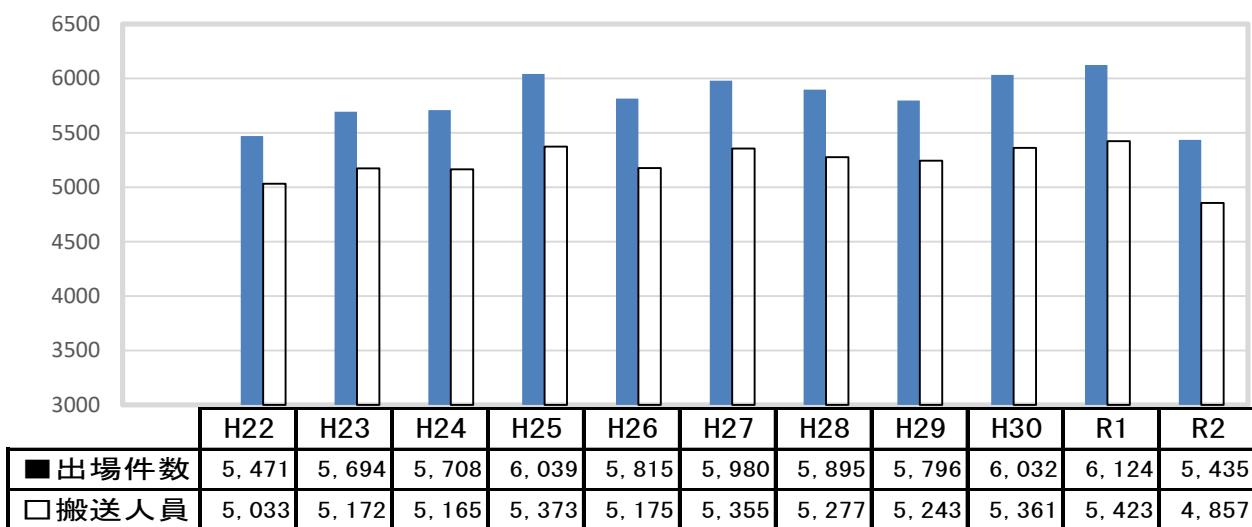
令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分		出場件数		搬送人員	
順位	種別	件数	比率 (%)	人数	比率 (%)
1	急病	3,200	58.9	2,891	59.5
2	一般負傷	916	16.8	838	17.3
3	その他	805	14.8	725	14.9
4	交通事故	318	5.8	288	5.9
5	火災	53	1.0	7	0.1
6	労働災害	50	0.9	47	1.0
7	自損行為	38	0.7	22	0.5
8	水難	26	0.5	15	0.3
9	運動競技	23	0.4	21	0.4
10	加害	3	0.1	3	0.1
11	自然災害	3	0.1	0	0
合計		5,435	100	4,857	100



令和2年中の救急件数構成比

3 救急需要の推移



4 ヘリコプターによる搬送件数の推移

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
件数	防災ヘリ	27	23	29	29	39	24	41	37	17	19
	ドクターへリ			52	51	60	63	43	26	34	55

5 事故種別・年齢区分別救急搬送状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日						
区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災				3	4	7
自然災害						
水難		1		9	5	15
交通		3	25	130	130	288
労働災害				33	14	47
運動競技			18	1	2	21
一般負傷		23	17	99	699	838
加害				2	1	3
自損行為				15	7	22
急病	3	54	36	544	2,254	2,891
転院搬送	8	11	7	144	554	724
医師搬送						
資器材搬送						
その他				1		1
合 計	11	92	103	981	3,670	4,857
比率 (%)	0	2	2	20	76	100.0

備考

「新生児」・・・生後28日未満の者 「乳幼児」・・・生後28日以上満7歳未満の者

「少 年」・・・満7歳以上満18歳未満の者 「成 人」・・・満18歳以上満65歳未満の者

「高齢者」・・・満65歳以上の者

6 時間別救急出動件数及び救急搬送件数

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0~2	出場件数	1		2	6	1		28		1	130	10	179
	搬送人員	1		1	6	1		26		1	123	5	164
3~4	出場件数			2				15	1		120	10	148
	搬送人員			1				15	1		111	8	136
4~6	出場件数			3				23			141	15	182
	搬送人員			3				22			132	12	169
6~8	出場件数		1		19	2		82	1		282	28	415
	搬送人員			17	2			75	1		254	21	370
8~10	出場件数	4		4	54	8	1	147		4	444	99	765
	搬送人員	1		1	49	8	1	135			405	90	690
10~12	出場件数	9		4	63	10	6	112		13	379	165	761
	搬送人員	1		3	58	9	5	107		7	345	156	691
12~14	出場件数	8		4	42	11	5	89		3	349	151	662
	搬送人員			2	38	10	4	82		2	305	141	584
14~16	出場件数	13		4	52	9	6	115		3	308	97	607
	搬送人員	2		3	46	8	6	99		3	283	91	541
16~18	出場件数	6	2	1	41	7	1	122		5	322	100	607
	搬送人員				35	7	1	113		3	288	88	535
18~20	出場件数	6			28	1	2	96	1	6	309	75	524
	搬送人員	1			26	1	2	87	1	4	278	66	466
20~22	出場件数	5		3	5	1	2	48		1	234	33	332
	搬送人員	1		2	5	1	2	42			207	29	289
22~24	出場件数	1		2	5			39		2	182	22	253
	搬送人員			2	5			35		2	160	18	222
合 計	出場件数	53	3	26	318	50	23	916	3	38	3,200	805	5,435
	搬送人員	7		15	288	47	21	838	3	22	2,891	725	4,857

7 曜日別月別救急出動件数

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他			合 計	
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 材 搬 送	その 他	
曜 日 別	日	8		6	34	6	4	136	1	6	468	64	2		5	740
	月	10		4	44	5		150		8	461	141	1		8	832
	火	7		4	45	6	3	129		6	469	132			10	811
	水	12		3	60	13	2	123		4	418	106			7	748
	木	2		2	34	6	1	127	1	2	466	95			9	745
	金	6		3	47	10	2	103	1	8	450	119			10	759
	土	8	3	4	54	4	11	148		4	468	87	1		8	800
合 計		53	3	26	318	50	23	916	3	38	3,200	744	4		57	5,435
月 別	1月	1		1	27	3		90		7	336	69			2	536
	2月	2		2	38	6	3	76		3	247	60			4	441
	3月	6		2	17	4	1	76		5	254	64				429
	4月	6		2	25	3		71	1	2	246	49			5	410
	5月	3			27	8		64		4	213	71	1		5	396
	6月	5		2	22	3	5	60		1	203	54			4	359
	7月		3	2	18	6	1	79	2	2	241	49	1		11	415
	8月	2		7	31	9	2	60		1	324	66			1	503
	9月	6		1	46	3	4	85		5	254	57	2		19	482
	10月	7		4	24	1	2	71		3	255	66			3	436
	11月	5		2	15	4	3	81		3	282	57			1	453
	12月	10		1	28		2	103		2	345	82			2	575

8 現場到着所要時間別出動件数

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
急 病	44	257	1412	44	175	1932
交 通	7	21	127	7	34	196
一 般 負 傷	18	77	396	18	36	545
そ の 他	18	163	458	2071	52	2762
合 計	87	518	2393	2140	297	5435
比率 (%)	1.6	9.5	44.0	39.4	5.5	100.0
全国比率 (%)	0.8	5.8	62.4	29.1	1.8	100.0
県比率 (%)	1.0	6.9	63.4	26.9	2.1	100.0
平均時間(分)	天草		全国		熊本県	
	9.9		8.7		8.5	

9 収容所要時間別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	救急覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間						
	10分未満	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120分以上	合計
急 病		95	471	1812	500	12	2890
交 通		5	53	166	61	4	289
一 般 負 傷		36	116	538	145	3	838
そ の 他		15	160	396	216	54	841
合計		151	800	2912	922	73	4858
比率 (%)		3.1	16.5	59.9	19.0	1.5	100.0
全国比率 (%)		2.7	24.5	63.4	9.0	0.3	100.0
県比率 (%)	0.1	3.2	27.8	61.1	7.5	0.2	100.0
平均時間(分)	天草			全国		熊本県	
	46.6			39.5		37.8	

10 傷病程度別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	死亡		重症		中等症		軽症		その他		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
火 災			1	2	1		3				5	2	7
自然 災害													
水 難	4	1	4		3	1	2				13	2	15
交 通	1		12	10	48	38	103	76			164	124	288
労 働 災害			5		20	2	17	3			42	5	47
運 動 競 技			1	1	1	2	12	4			14	7	21
一 般 負 傷	7	9	42	104	134	220	168	153	1		352	486	838
加 害						1		2				3	3
自 損 行 為	5	3	5	1	2	4		2			12	10	22
急 病	56	31	203	184	695	660	538	522		2	1,492	1,399	2,891
転院 搬送	1		94	95	219	233	42	38	1	1	357	367	724
医 師 搬 送													
資 器 材 搬 送													
そ の 他						1						1	1
合 計	74	44	367	397	1,123	1,162	885	800	2	3	2,451	2,406	4,857
	118		764		2,285		1,685		5		4,857		
比率 (%)	2.4		15.7		47.0		34.7		0.1		100.0		

備 考

「死 亡」・・・初診時において死亡が確認されたもの

「重 症」・・・3週間以上の入院加療を必要とするもの

「中等症」・・・重症又は軽症以外のもの

「軽 症」・・・入院加療を必要としないもの

11 医療機関別搬送人員

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	救急告示		その他の機関		接骨院等		その他		合計		
	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	
急 病	2,257	448	181	3					2	2,438	453
交 通	249	33	6							255	33
一 般 負 傷	661	131	45						1	706	132
そ の 他	657	164	8	4				2	5	667	173
合 計	3,824	776	240	7				2	8	4,066	791

12 事故種別・理由別不搬送状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	緊急性なし	傷病者なし	拒否	めいてい	死亡	現場処置	誤報	いたずら	その他	合計
火 災		45				1				46
自然災害		3								3
水 難	1				4	5			1	11
交 通	7	9	2			16			26	60
労 働 災 害					1	2				3
運 動 競 技						2				2
一 般 負 傷	2	1	4		3	67			2	79
加 害										
自 損 行 為	1				13	2				16
急 病	18	1	15	1	64	200	2		12	313
転院搬送						19			2	21
医 師 搬 送									4	4
資器材搬送										
そ の 他	6	5	1			2	40		1	55
合 計	35	64	22	1	85	316	42		48	613

13 市町別医療機関数

令和3年3月31日現在

区分	病院			診療所			合計			
	国公立	公的	私的	国公立	公的	私的	国公立	公的	私的	合計
天草市	5		9	1			60	6		69 75
日本渡市	1		5				37	1		42 43
旧牛深市	1		2				7	1		9 10
有明町			1				2			3 3
御所浦町				1			1	1		1 2
倉岳町							2			2 2
栖本町	1						1	1		1 2
新和町	1							1		1 1
五和町			1				5			6 6
天草町							2			2 2
河浦町	1						3	1		3 4
上天草市	1			2			16	3		16 19
大矢野町				1			11	1		11 12
松島町				1			2	1		2 3
姫戸町							3			3 3
龍ヶ岳町	1							1		1 1
天草郡苓北町			3				2			5 5
合 計	6		12	3			78	9		90 99

14 救急隊員の行った処置

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
止 血	11	20	109	22	162
固 定	14	217	148	34	413
人 工 呼 吸	3			2	5
酸 素 吸 入	770	21	85	266	1,142
保 温	22	11	11	16	60
被 覆	15	47	146	32	240
心 マ ッ サ ー ジ	1				1
心 肺 蘇 生 法	107	1	21	20	149
(自動式心マッサージ器)	5			2	7
在 宅 療 法	45		6	3	54
血 圧 測 定	2,964	364	867	840	5,035
心 音 ・ 呼 吸 音 聽 取	280	45	50	43	418
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	2,990	373	875	856	5,094
血 糖 測 定	47		1	2	50
心 電 図 測 定	2,192	120	319	564	3,195
気 道 確 保	124	1	25	28	178
(経鼻エアウェイ)					
(喉頭鏡・鉗子等)	1		9		10
(ラリンゲアルマスク等)	5		3	1	9
(気管挿管チューブ)	5		5	3	13
除 細 動 器	14			1	15
静 脈 路 確 保	16	2	4	4	26
薬 劑 投 与	15		3	2	20
エ ピ ペ ン 投 与					
ブ ド ウ 糖 投 与					
そ の 他	58	5	10	11	84
合 計	9,704	1,227	2,697	2,752	16,380

() は器具を使用したものの内訳

15 市町村別救急発生状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	発生件数	搬送人員
天草市	32	1	12	234	33	17	577	2	29	2,028	596	3,561	3,296
旧本渡市	13		1	133	10	11	219	1	14	794	266	1,462	1,354
旧牛深市	2		3	21	9	2	85		3	307	122	554	511
有明町	1		2	16	3		41		2	150	16	231	214
御所浦町	1		1	6	2	1	49			137	18	215	205
倉岳町	2			1	3		28			107	7	148	141
栖本町	1			7	2	1	16		2	52	20	101	98
新和町	1	1	2	4	1		32			59	48	148	141
五和町	5		2	16	1	1	59		4	182	28	298	275
天草町	3			11	2	1	31	1	3	118	11	181	155
河浦町	3		1	19			17		1	122	60	223	202
上天草市	18	2	13	68	12	5	245	1	7	930	134	1,435	1,323
大矢野町	11	2	6	32	5	4	145	1	4	462	46	718	649
松島町	5		2	29	4	1	58		2	265	23	389	362
姫戸町	1		1	5	1		18			88	3	117	110
龍ヶ岳町	1		4	2	2		24		1	115	62	211	202
天草郡苓北町	3			12	3		52		2	124	58	254	238
管轄外													
合計	53	3	25	314	48	22	874	3	38	3,082	788	5,250	4,857
管内中継			1	4	2	1	42			118	17	185	
救急件数	53	3	26	318	50	23	916	3	38	3,200	805	5,435	

16 住民に対する応急手当普及啓発指導状況

令和3年4月1日現在

区分	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		上級救命講習		普及員講習		その他の講習		合計	
	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数
平成22年以前	31,536	1,525	569	45	267	6	69,373	1,818	101,745	3,394
23年	2,187	89	38	3	70	2	4,114	152	6,409	246
24年	2,820	111	18	3			5,243	160	8,081	274
25年	2,512	99	52	9	37	2	4,628	162	7,229	272
26年	2,886	105	15	2	24	2	5,655	189	8,580	298
27年	2,959	95	14	3	34	2	6,227	201	9,234	301
28年	3,447	107	14	2	18	2	4,781	167	8,260	278
29年	3,512	107	11	3	27	1	6,955	197	10,505	308
30年	3,143	125	12	2			6,123	164	9,278	291
令和元年	2,574	88	17	3	38	2	4,401	182	7,030	275
2年	183	6	0	0	0	0	1,543	76	1,726	82
合計	57,759	2,457	760	75	515	19	119,043	3,468	178,077	6,019

17 応急手当指導員講習修了者状況

令和3年4月1日現在

区分	講習Ⅰ修了者	講習Ⅱ修了者	講習Ⅲ修了者	合計
平成22年度以前	218			218
23年度	6			6
24年度	6			6
25年度	6			6
26年度	6			6
27年度	6			6
28年度	8			8
29年度	6			6
30年度	8			8
31年度	6			6
令和2年度	7			7
合計	283	0	0	283

講習Ⅰ：救急救命士、救急隊員または消防機関在職中に救急隊員の資格を有していた者で、8時間の講習を修了した者（退職者も含む）

講習Ⅱ：上記以外の消防職員（応急手当の普及業務に関し、消防職員と同等以上の知識及び技能を有すると消防長が認める消防団員を含む）または消防職員であった者で、24時間の講習を修了した者

講習Ⅲ：応急手当普及員の資格を有するもので、16時間の講習を修了した者

18 救急救命士資格取得状況

令和3年4月1日現在

年 度	取得数(人)			年 度	取得数(人)		
	取得	内入署時 既取得	退職		取得	内入署時 既取得	退職
平成 10 年度以前	10	(2)		22 年度	5	(3)	
11 年度	2			23 年度	3	(1)	
12 年度	2			24 年度	6	(4)	
13 年度	1			25 年度	5	(3)	△ 1
14 年度	5	(3)		26 年度	5	(3)	
15 年度	2			27 年度	6	(3)	△ 1
16 年度	2			28 年度	5	(3)	△ 1
17 年度	2			29 年度	4	(3)	△ 2
18 年度	1			30 年度	5	(2)	
19 年度	4	(2)		31 (令和元) 年度	2		
20 年度	5	(3)		令和 2 年度	3	(1)	
21 年度	3	(1)		3 年度 (未確定)	3	(3)	
小 計	39	(11)	0	合 計	91	(40)	△ 5

19 救急救命士気管挿管・薬剤投与認定取得状況

令和3年4月1日現在

年 度	気管挿管資格取得数 (人)		薬剤投与資格取得数 (人)	
	内退職者		内退職者	
平成 21 年度以前	14		22	
22 年度	2		12	
23 年度	2		8	
24 年度	2		2	
25 年度	2 △ 1		6	
26 年度	2		2	
27 年度	2		6	
28 年度	2 △ 1		1	
29 年度	2 △ 1		9 △ 1	
30 年度	2		5	
31 年度	2		6	
令和 2 年度	0		2	
合 計	34 △ 3		81 △ 1	

救 助 業 務

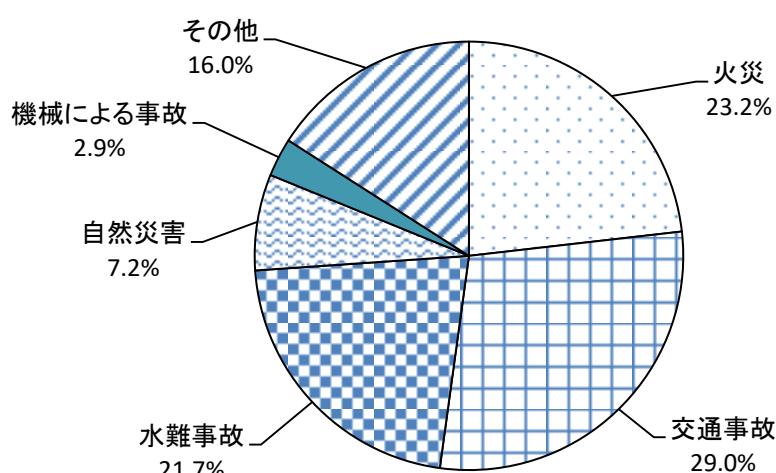
1 救助業務活動状況の推移

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	火災	交通事故	水難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
平成26年	24	24	17		7		1		8	81
	(0)	(26)	(11)		(4)		(0)		(8)	(49)
平成27年	29	29	12		3				10	83
	(2)	(21)	(11)		(2)				(6)	(42)
平成28年	9	24	6	1	1		1		10	52
	(0)	(18)	(6)	(1)	(0)		(1)		(8)	(34)
平成29年	18	29	14		1		1		10	73
	(1)	(33)	(9)		(1)		(0)		(9)	(53)
平成30年	11	20	15		2				9	57
	(1)	(17)	(12)		(1)				(9)	(40)
令和元年	20	23	11		2		1		13	70
	(1)	(20)	(6)		(1)		(1)		(11)	(40)
令和2年	16	20	15	5	2				11	69
	(1)	(25)	(11)	(2)	(1)				(7)	(47)

()内は救助者数

令和2年中の救助件数構成比



2 事故種別出動状況等

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分	火災	交通事故	水難	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
出動件数	16	20	15	5	2				11	69
出動人員	救助隊員	29	55	34	4	5			24	151
	消防隊員	132	69	50	24	5			41	321
	救急隊員	54	120	47	15	5			35	276
	合計	215	244	131	43	15			100	748
活動件数	16	15	11	3	1				7	53
出動人員	救助隊員	12	23	15	2	2			7	61
	消防隊員	54	39	30	17	2			15	157
	救急隊員	12	63	32	7	2			21	137
	合計	78	125	77	26	6			43	355
救助人員	1	25	11	2	1				7	47

令和 2 年版 消防年報

令和 3 年 7 月 発行

発行 天草広域連合消防本部

〒863-0001
熊本県天草市本渡町広瀬 1687 番地 2

TEL 0969-22-0119

FAX 0969-22-3221

Mail amasho-119@

amakusa-kouikirengo.or.jp

編集 天草広域連合消防本部総務課
